

かがやき

命の大切さを実感させる教育プログラム



笠間市自殺予防教育指導マニュアル

平成24年3月

笠間市教育委員会

表紙の絵「君とみた夏」
笠間中学校 3年 ほんごう ひろこ 本郷裕子

かがやき

命の大切さを実感させる教育プログラム

輝く命を大切にできる子どもたちに

警視庁の統計によりますと、平成22年度中におけるわが国の自殺者数は、31,690人で、小中学生は83人でした。自殺者数は、1998年以来、毎年3万人を超え続けています。交通事故死者数の5倍以上になるほどの自殺者数の増加は、今や社会問題化しています。交通安全教育につきましては、これまで長い間、学校で、組織的、継続的に実施してきました。国を挙げての交通安全運動の取り組みもあり、交通安全教育は成果を上げてきています。しかし、自殺予防については、必要感を持ちながらも、学校、地域社会、会社等の事業所でも取り上げられないできました。「自殺」という非常に複雑な問題にどうアプローチするかが明確にされていないことが原因の一つと考えられます。このような状況の中で、国は、平成21年度に「教師が知っておきたい子どもの自殺予防」（自殺予防マニュアル）を作成し、学校での自殺予防に関する指針・教師の取り組み等を提言しました。

笠間市教育委員会は、「生きる力」のねもとにある「命」を守ることが、児童・生徒のキャリア教育には不可欠であるという認識の基に、将来、自ら命を絶つということをしていない社会人の育成を目的として、指導資料を作成することにいたしました。国のマニュアルの趣旨を生かし、市内の各学校で「自殺予防」を視野に入れた授業を計画的・系統的に実施することで、児童・生徒が自他の生命を尊重し、自殺を回避できる態度や能力を育てる教育を構築し、将来にわたる「生きる力」の育成を目指したいと考えています。

この、「かがやき—命の大切さを実感させる教育プログラム—」は、新たに教育課程を導入することではなく、子どもたちと常に向き合っている学級担任が、「道徳」「学級活動」等で取り上げる指導資料として作成したものです。その学年で必ず取り上げることを前提としていますので、笠間市の子どもたちは、中学校卒業までに同じ内容を学ぶこととなります。むろん、取り上げる時期、取り上げ方等は、児童・生徒の実態に応じて異なってくるでしょう。しかし、本市の子どもたちが、このプログラムの学習を通して、生きとし生きるものの命を大切に思い、自分をかけがえの無い存在として自覚し、「苦しいときに相談する」「相談されたときには、適切な大人に知らせる」などのスキルを身につけて、社会に飛び立てることを心から願うものです。

さらに、指導する教職員がこの授業を計画・実施する中で、自らのメンタルヘルスに役立てることができるのではないかと期待しているところです。

最後になりますが、このマニュアルを作成するに当たり、一年間にわたり献身的にお力をいただきました作成委員の皆様にご心から感謝いたします。

平成24年3月24日

笠間市教育委員会教育長 飯島 勇

目次

| | | |
|---------|------------------------------|----|
| | 「かがやき」の活用にあたって | 1 |
| | 笠間市の自殺予防教育のねらい | 2 |
| | 年間指導計画 | 3 |
| 小学校・低学年 | ぼく おにいちゃんになったよ | 5 |
| | わたしのたんじょう | 9 |
| | 横断歩道で | 13 |
| | 家ぞくのためにできること | 17 |
| | コラム①自殺予防について、教師のできること・できないこと | 21 |
| 小学校・中学年 | みんなでジャンプ | 23 |
| | あたたかい言葉かけ | 27 |
| | ～雨～ 星野富弘 | 31 |
| | 友だちのすてきなところを見つけよう | 35 |
| | コラム②群発自殺 | 39 |
| 小学校・高学年 | たった一つの命だから | 41 |
| | 友だちから相談されたら | 45 |
| | 「死」という言葉をどう受け止めますか？ | 49 |
| | 小惑星探査機「はやぶさ」～2592日間の旅～ | 53 |
| | 不安や悩みへの対処 | 57 |
| | コラム③「いのちの教育」と自殺予防 | 61 |
| 中学校 | 私はワタシ | 63 |
| | 新しいクラスメートはどんな人？ | 67 |
| | 生きている・・・ということ | 71 |
| | 「いじめ」気づいたらどうする！！ | 75 |
| | 「死にたい」という人がいたらどうしよう | 79 |
| | 義足のスプリンター ～オスカー・ピストリウスの挑戦～ | 83 |
| | 未来に向かって | 87 |
| | コラム④自殺系サイト | 91 |
| | 参考資料 | 92 |

「かがやき」の活用にあたって

○しなやかに生きる人間の育成を目指します。

生と死に向き合い、命の大切さが実感できる指導を継続します。また、集団生活で大切な人間関係に関わることで、将来を見据えて前向きに生活することなども取り上げました。自分の命を大切に、困難なことがあっても負けずしなやかに生きていく人間の育成を目指してこのプログラムを実施します。

○児童・生徒にとって居心地のよい学級が基本です。

児童・生徒の学校生活の中心は学級です。道徳も学級活動も、学級担任が中心となって指導をします。児童・生徒間や教師との関係など、あたたかな人間関係のもとに指導が行われるようにすることが大切です。あたたかな人間関係の基本は、一人一人を大切にすることであり、集団生活の場では特に意識しなければなりません。

○年間指導計画に位置づけ、全学年でプログラムを実施します。

道徳と学級活動の年間指導計画に位置づけます。発達段階に応じ、他教科・領域等との関連を図りながら系統的に指導します。全ての学年で必ず実施することで、自他の生命を慈しむ豊かな心を育むことができます。

○学級の実態に応じて、資料を活用できます。

学級には、様々な家庭環境で育った児童・生徒がいます。特に、自殺を取り扱う時には、実態に応じた指導や配慮が必要です。学級の実態や教師の経験などを踏まえて、資料を変更したり工夫したりすることも可能です。

○横断的・系統的な指導を意識することで補充・深化が図れます。

道徳や学級活動で取り扱った内容については、横断的・系統的な指導を心がけます。道徳的な心情や人間関係を構築する力、相談するスキルなどは機会を見つけて取り上げ、様々な教育活動の中で実践していくことにより育成することができます。

笠間市の自殺予防教育のねらい

～しなやかに生きる人間の育成をめざして～

小学校低学年 (小1・小2)

自分が愛されていることを自覚し、自分の生命を大切にする。



家族との ふれあい



小学校中学年 (小3・小4)

友だちと協力して生活し、自他の生命を大切にする。



小学校高学年 (小5・小6)

自己有用感を高め、自他の生命を尊重する。



友だちとの かかわり



中学校1年

自己の特性を理解し、よりよく生きようとする。

中学校2年

自他の存在を認め合い、共によりよく生きようとする。



社会への 巣立ち



中学校3年

自己実現をめざし、将来に向かって、しなやかに生きようとする。

子どもたちの生活の場は成長に伴って広がり、多くの人や出来事とのかかわりを通して、自分らしさ(=自己)を確立していきます。

自己の確立

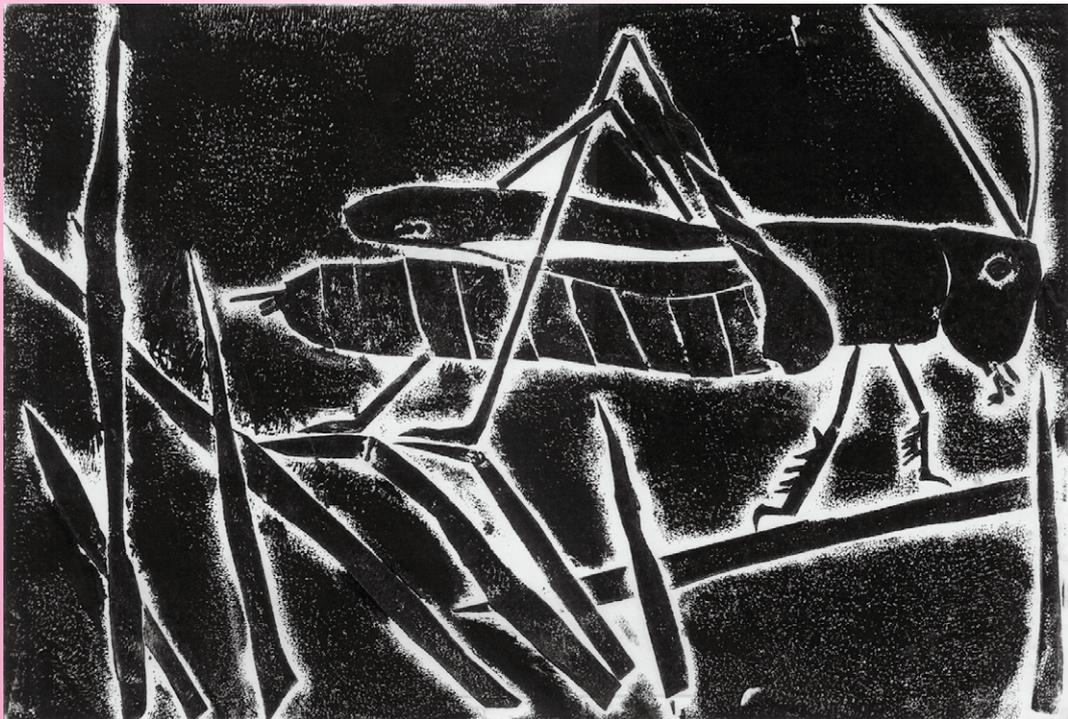


年間指導計画

| 学年\項目 | 指導目標 | 道徳 | | | 特別活動(学級活動) | | |
|-------|--------------------------------|--|---|---------|---------------------|--|---------|
| | | 題材名 | ねらい | 指導時期 | 題材名 | 資質・能力・態度 | 指導時期 |
| 小学校1年 | 自分が愛されていることを自覚し、自分の生命を大切にします。 | 「ぼくおにちゃんになったよ」 4-(3)家族愛 | 自分は家族の中でかけがえない存在だと気づき、家族を大切にしようとする気持ちを育てる。 | 10月～11月 | わたしのたんじょう | ○生命を大切に する気持ち ○家族への感謝する 気持ち | 11月～12月 |
| 小学校2年 | | 「横断歩道で」 2-(4)感謝 | 他者への感謝の気持ちを持ち、表現しようとする心情を育てる。 | 5月～6月 | 家ぞくのために できること | ○家族に対する感謝 の気持ち ○自分のできることを 実践しようとする 心構え | 6月～7月 |
| 小学校3年 | 友だちと協力して生活し、自他の生命を大切にします。 | 「みんなでジャンプ」 2-(3)友情・助け合い | お互いに理解し合い、助け合ってよりよい仲間集団を形成しようとする気持ちを育てる。 | 9月～10月 | あたたかい言葉かけ | ○相手を思いやるあ たたかい言葉かけ | 6月～7月 |
| 小学校4年 | | 「～雨～星野富弘」 2-(2)思いやり・親切 | 自分の周囲に対して思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる。 | 6月～7月 | 友だちのすてきなところを見つけよう | ○友だちのよさの発見し認め合うこと | 9月～10月 |
| 小学校5年 | 自己有用感を高め、自他の生命を尊重する。 | 「たった一つの命だから」 3-(1)生命尊重 | 生命について考え、自分の生命を大切に する態度や心情を育てる。 | 9月～10月 | 友だちから相談されたら | ○不安や悩みはだれかに相談すること ○相談されたとき時の対応 | 10月～11月 |
| | | | | | 「死」という言葉をどう受け止めますか? | ○死を意識するとともに、命を大切に する気持ち | 9月～10月 |
| 小学校6年 | | 「小惑星探査機「はやぶさ」～2592日間の旅～」 1-(2)希望・夢の実現 | 困難なことに出会っても、勇気をもって自分の目標に向かって進んでいく態度を育てる。 | 1月～2月 | 不安や悩みへの対応 | ○ストレスへの対処方法を知る ○自分の身のまわりのサポーターの存在に気づく | 1月～2月 |
| 中学校1年 | 自己の特性を理解し、よりよく生きようとする。 | 「私はワタシ」 1-(5)個性の伸長 | 自己の特性を理解しよりよい自己を形成しようとする心情を育てる。 | 5月～6月 | 新しいクラスメートはどんな人? | ○新たな人間関係をつくるため、お互いを理解し合う。(構成的グループエンカウンター) | 4月～5月 |
| 中学校2年 | 自他の存在を認め合い、共によりよく生きようとする。 | 「生きている……ということ」 3-(1)生命尊重 | 生命の大切さについて考え、自他の生命を尊重する態度や心情を育てる。 | 5月～6月 | 「いじめ」気づいたらどうする!! | ○ネットいじめの現実を知る ○「いじめ」の傍観者にならない心構え | 6月～7月 |
| | | | | | 「死にたい」という人がいたらどうしよう | ○「死にたい」という友だちがいたときの対応 | 11月～2月 |
| 中学校3年 | 自己実現をめざし、将来に向かって、しなやかに生きようとする。 | 「義足のスプリンター～オスカ・ピストリウスの挑戦～」 1-(2)強い意志・高い目標 | 自分の個性と可能性を信じ、夢や目標をもって、これからの人生を粘り強くしなやかに生きていこうとする心育てる。 | 10月～11月 | 未来に向かって | ○新たな自分のよさや持ち前に気づく ○困難にぶつかった時、柔軟に対処していく心構え | 6月～10月 |

小学校低学年

大好きなキリギリス



岩間第一小学校 2年 大槻 京太郎

ぼく おにいちゃんになったよ

内容項目

4－(3) 父母，祖父母を敬愛し，進んで家の手伝いなどをして家族の役に立つ喜びを知る。

自殺予防との関連

この時期の児童は，自分が生まれてきた時のことを知らなかったり，自分は家族に愛され，大切に育てられていることをあまり意識していなかったりすることも多い。人格形成の基盤は「家庭」であり「家族の中でかけがえのない存在である自分」を実感することがとても大切である。

そこで，この資料を通して，生命が生まれることの素晴らしさ，そして一人一人の存在が家族のあたたかい思いに包まれていることに気づかせ，家族を大切にしようとする心情を育てていきたい。

板書の例

| | | | | | |
|----------------|---|--|---|----------------|----------------------|
| みんなが 生まれたとき | 場面絵3 赤ちゃんを見て いるぼく ○じいんときた | 場面絵2 家族と待つて いるぼく ○ドキドキ | 場面絵1 お腹にさわって いるぼく ○やったあ | ぼく おにいちゃんになったよ | 赤ちゃんの 写真 |
|----------------|---|--|---|----------------|----------------------|

本時のねらい

自分は家族の中でかけがえのない存在だと気づき，家族を大切にしようとする気持ちを育てる。

展開の例

| 時間 | 主な活動・発問と予想される反応 ○基本発問 ◎中心発問 | 教師の働きかけ □評価 |
|-----|---|--|
| 5分 | 1 赤ちゃんの写真を見て感想を発表する。 ・かわいいね。 ・赤ちゃんて小さいね。 | ・赤ちゃんの写真を見ながら、思ったことや感じたことなどを自由に発表することを通してねらいとする価値への方向づけをする。 |
| 20分 | 2 資料「ぼく おにいちゃんになったよ」を読んで、ぼくの気持ちを想像し、発表する。 ○お母さんに「おにいちゃんになるのよ」と言われた時、ぼくはどんなことを思ったでしょうか。 ・やったあ。うれしいな。 ・早く生まれてこないかなあ。 ○部屋の前で「ドキドキ」した時、ぼくはどんなことを思ったでしょうか。 ・お母さん大丈夫かな。 ・生まれるって大変なんだ。 ・ぼくが生まれる時もこうだったんだ。 ◎生まれたばかりの赤ちゃんたちを見て胸がじいんとなった時、ぼくはどんなことを思ったでしょう。 ・弟ができてうれしいなあ。 ・生まれるってすごいなあ。 ・ぼくが生まれた時も、家族みんなが喜んでくれたんだ。 | ・場面ごとに「ぼく」の気持ちを疑似体験できるように、資料は分割提示をする。 ・場面絵を紙芝居のように提示する。 ・部屋の前で待っている「ぼく」の姿の場面絵を提示し、ドキドキしているぼくの気持ちを十分想像させ、中心発問へと結びつけていきたい。 ・教師が母親役（または父親役）、児童が「ぼく」の役になって気持ちを想像し、発表する。その時、児童に生まれたての赤ちゃんと同じ重さの赤ちゃん人形を持たせ、五感を通して命の重みを感じさせたい。 |
| 15分 | 3 家の人の手紙や写真を見ることを通して自分の考え方を見つめる。 ○お家の人から「みんなが生まれた時のこと」について手紙を書いてもらいました。読んで思ったことを発表しましょう。 ・生まれるまで大変だったんだ。 ・生まれた時みんな喜んでくれたんだ。 ・お母さん、ありがとう。 | ・手紙を家庭に依頼する時は、生まれるまでの様子や生まれた時の家族の気持ちを書いてもらうように通知等で趣旨を十分伝えておく。 □ 自分は家族の中で大切な存在であることに気づき、家族への感謝の気持ちを持ち、表現している。 (発表・ワークシート) |
| 5分 | 4 教師の説話を聞く。 | ・一人一人大切な存在だという内容の、教師自作の手紙を読んで余韻を残しながら終わらせた。 |

ぼく おにいちゃんになったよ

ぼくは、いつものように おかあさんの ひざに のっていました。すると おかあさんが、
 「としき、おなかに やさしく 手を おいてみて。」
 と いいました。ぼくは、しずかに おかあさんの おなかに 手を おきました。
 おかあさんの おなかは 大きく ふくらんで いました。よく 見ていると おなかがときどき うごきます。ぼくは、
 「あれっ おなかが うごいているよ。」
 と いいました。おかあさんは、わらいながら
 「うごいて いるでしょう。おかあさんの おなかの中には あかちゃんが いるのよ。もうすぐ としきは おにいちゃんに なるのよ。」
 といいました。ぼくは、おもわず
 「やったあ。」
 とさげびました。

11月のあるあさ、とつぜん おかあさんが、
 「あかちゃんが うまれそうよ。」
 と いいました。おとうさんの うんてんで いそいで びょういんに いきました。びょういんに つくと おかあさんは かんごしさんと いっしょに あかちゃんを うむへやに 入っていきました。ぼくは、おとうさんと おばあちゃんの 三人で へやの まえで まちました。かさまのおじいちゃんとおばあちゃんも きました。あかちゃんは、なかなか うまれません。みんな へやの まえで うろうろして います。ぼくは、おとうさんに
 「ぼくが、うまれる ときも こうやって みんなで まっていたの。」
 と きくと
 「そうだよ。としきのときも なかなか うまれなくて しんぱい したんだよ。」
 とおしえて くれました。おばあちゃんが、
 「おなかの中に ふたり いるから なかなか うまれて こないのかな。」
 と いいました。
 ぼくは、なんだか ドキドキしてきました。

そのときです。
 「おぎゃあ、おぎゃあ。」
 と あかちゃんの なきごえが しました。ぼくは、うまれたと おもいました。

おかあさんの へやに 入ると まっかなかおを している
 あかちゃんたちが いました。
 小さい からだを いっしょうけんめい うごかして います。
 おかあさんが、
 「としきおにいちゃん、おとうとたちを よろしくね。」
 と にこにこしながら いいました。

ぼくは、なんだか むねが じいんとなりました。



ぼく おにいちゃんになったよ

1ねん()くみ()ばん なまえ

○ むねが じいんと なったとき、ぼくは どんな ことを おもったでしょうか。

Handwriting practice area with a decorative border and two horizontal dashed lines.

☆ おうちの人 の 手がみをよんで かんじたことを かいてみましょう。

Handwriting practice area with a decorative border and eight horizontal dashed lines.

わたしのたんじょう

指導にあたって

1 題材設定の理由

自己肯定感が低い子どもは、自分の命を大切に思えないことがある。自分の命は両親や周りの人たちの喜びとともに誕生し、現在まで至ることを理解させる。そして、自己肯定感を高め、自分の命を大切に作る気持ちを育てたいと考えこの題材を設定した。

2 指導の流れ

(1) 事前指導

①事前に自殺予防教育第1学年道徳「ぼく おにいちゃんになったよ」を実施する。

(2) 事後指導

①書いた手紙を家庭に返し、保護者に感想をもらう。その感想は保護者の了解を得て子どもたちに紹介し、また、掲示物や学級通信などに活用する。

3 参考文献

「性教育実践資料集」(笠間市養護教諭部会作成)

板書の例

わたしのたんじょう

あかちゃんのときのじぶんをしろ

うれしい

たいせつに

やく280日



おかあさん

- ・えいようのあるたべものを食べる。
- ・おなかをあたためる。
- ・おもたいものをもたない。
- ・びょうきにきをつける。

家族が協力する絵

家族が協力する絵

赤ちゃんが生まれて喜んでいる絵

「てがみをかこう」

- ※ありがとうのきもち
- ※いのちをたいせつにする
- ※おともだちのいのちをたいせつにする

※中央の楕円は大きくなっていく胎児の写真または絵。ほぼ実物大で掲示する。

展開の例

| 時間 | 学 習 内 容 | 指導上の留意点 評 価 |
|-----|---|--|
| 5分 | 1 本時の学習課題を確認する。 | |
| | <p style="text-align: center;">あかちゃんのときのじぶんをしろ</p> <p>(1)赤ちゃんの写真や洋服を見て自分の成長に気付く。 ・小さいね。 ・ぼく、大きくなったなあ。</p> <p>(2)赤ちゃん人形を抱いて、生まれたばかりの大きさや重さを実感する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の誕生に関心をもてるように配慮する。 ・事前に赤ちゃん人形を教室に置き、関心を向けさせる。 ・人形を抱かせることにより、生まれた時の自分のことも想像させたい。 |
| 15分 | 2 生まれるまで、そして生まれた時の家族の思いを知る。 | |
| 20分 | 3 家族に感謝の手紙を書く。 | |
| 5分 | 4 本時の学習のまとめをする。 | |

わたしのたんじょう

1ねん()くみ()ばん なまえ

1 おうちの人へおてがみをかきましょう。

^

より



2 おうちの人にかんそうをかいてもらいましょう。

掲示資料

1. 胎児の成長の様子 (掲示の仕方)



2. 家族の協力の絵



関連資料

心のノート小学校1・2年「みんな みんな 生きて いるよ」



横断歩道で

内容項目

2-(4) 日頃世話になっている人々に感謝する。

自殺予防との関連

この時期の児童は、周囲の人々に支えられたり助けられたりして自分が存在するという意識は薄い。人々の善意に気づくことは、自分の存在意義を知ることになり、ひいては自他の生命を大切にする人間尊重の精神を養う。

そこで、この資料を通して「日頃お世話になっている人々の存在」に気づき、「自分が感じた感謝の念」を言葉や態度で素直に表そうとする気持ちや態度を育てていきたい。

板書の例

わたしたちのために・・・。

笑顔のおじさんの挿絵

・・・

「おはようございますね。」

夜考えたこと

・・・

横断歩道の写真

・・・

ケンタくんの気持ち

「横断歩道で」

お世話になっている人
 おとうさん おかあさん
 先生 上きゆう生

本時のねらい

他者への感謝の気持ちを持ち、伝えようとする態度を育てる。

展開の例

| 時間 | 主な活動・発問と予想される反応 ○基本発問 ◎中心発問 | 教師の働きかけ 評 評価 |
|-----|---|---|
| 5分 | 1 日頃お世話になっている人は誰かを考えて発表する。 ・おとうさん ・おかあさん ・先生 | ・日頃お世話になっている人に思いをめぐらし、価値への方向づけをする。 |
| 20分 | 2 資料「横断歩道で」を読んで「ケンタくん」の気持ちを想像し、発表する。 ○横断歩道で止められたときケンタくんはどんなことを思ったでしょう。 ・どうして止めるの？ ・遅刻しちゃうじゃないか。 ・いやなおじさんだ。 ・まだ渡れるのに。 ○この夜ケンタくんはどんなことを考えたでしょう。 ・おじさんに悪いことをした。 ・命を助けてくれたんだ。 ・あやまろうかな。 ◎にっこり笑ったおじさんはどんな気持ちだったでしょう。 ・わかってくれてよかった。 ・命を大切にしてほしい。 ・気をつけて行ってらっしゃい。 ・気持ちがよい。 | ・資料は分割提示とし、範読する。場面ごとに区切って発問する。 ・場面を想像できるような絵を示す。 ・主人公の気持ちを率直に表現できるように、受容的な取り上げ方を心がける。 ・様々な思いをめぐらす主人公の気持ちに共感できるように受容的に取り上げる。 ・「主人公は明日どうしようと思ったか」と補助的に問いたい。 ・おじさんの思いを体感するため、実際に気持ちを込めて声に出すなどの工夫をするように助言する。 |
| 5分 | 3 どんな場面で誰にお世話になっていたか思い出したことを発表する。 ・登下校のとき交通パトロールの方に ・登校班で上級生に ・買い物のお店の人に ・学校で先生に | ・どんな場面でどんなお世話になったか、具体的に発表できるようにじっくり考えさせる。 |
| 10分 | 4 お世話をしてくれた人に感謝の気持ちを伝えるメッセージを書く。 | ・ワークシートに感謝の手紙を書く。 評 日頃お世話になっている方に感謝の気持ちを持ち、表現している。 (発表, ワークシート) |
| 5分 | 5 教師の説話を聞く。 | ・児童の感謝の気持ちが伝わり、新しい関係も生まれるので、実際に手紙を相手に届けるような配慮をしたい。 ・児童が気づきにくい人を紹介するような話をする。 |

横断歩道で

ケンタくんが まいあさ とおる 横断歩道には、こわいかおをした おじさんがいつも立っています。足が わるいようで、少し ひきずって 歩いています。おじさんは 雨の日も 風の日も、あさも かえりも、いつも ケンタくんたちを見はっていました。ケンタくんたちは、なるべく そのおじさんと 目が あわないようにしていたのです。

ある日、ケンタくんは ちこくしそうになって あわてて いました。「いってきます。」のかわりに「おかあさんが おこして くないからだっ!!おかあさんの せいだ!!」とどなって、いえを とび出したのです。

学校の まえにある 横断歩道の しんごうが ピカピカ ひかりだしました。「あっ、赤になっちゃう。」ケンタくんは いそいではしり出しました。そのとき「こらーっ!!」という かみなりのような こえと いっしょに、ケンタくんの ランドセルは ぐいっとうしろに ひっぱられました。あの おじさんです。おじさんは とても こわい かおをして ケンタくんを にらみつけました。

学校につくと、ケンタくんは 先生に、「まだ わたれたのに あの おじさんのせいでちこくしました。」と いました。先生は ちょっと こまった かおをして いました。ほかごになると、先生は ケンタくんを よんで、こんな はなしを してくれました。

あの おじさんには、小学生の 子どもが いたこと。その子が こうつうじこで なくなったこと。おじさんの 足も そのときの じこの せいだということ。それから ずっと、おじさんは 横断歩道で 子どもたちを 見まもっていること……。

ケンタくんは、なんだか むねの おくが じいんと しびれて きました。先生は ケンタくんの あたまを ちょっと なでて「きをつけて かえりなさい。」と いました。

つぎの 日の あさです。横断歩道には やっぱり あの おじさんが 立っていました。こわい かおをして 立っていました。でも ケンタくんは ゆうきを出して 言いました。

「おはようございます!」

ちょっと おどろいた かおを したあと、おじさんは にっこりと わらいました。

なんだか きもちの いい あさでした。



おう だん ほ どう
横断歩道で

2年()組()番 名前()

◎ にっこり笑ったおじさんはどんな気持ちだったでしょうか。

Writing area for the first question, featuring a decorative border and horizontal dashed lines.

☆ お世話になっている方にお礼のお手紙を書きましょう。

Writing area for the second question, featuring a decorative border and horizontal dashed lines. Includes a small 'へ' character on the first line and the word 'より' at the bottom right.

家ぞくのためにできること

指導にあたって

1 題材設定の理由

小学校に入学し1年が経過している。学校では自己中心的な行動から様々なトラブルが発生することが多くなり、家庭ではわがままな行動が多くなる時期でもある。小さな集団や家族の中でも、相手を思いやることでよりよく生活できることに気づいていないことも多い。

そこで、自分が生まれてから今まで、家族のたくさんの愛情のもとに大切にされて成長してきたことを振り返ることで、自分の一番身近にいる家族への感謝の気持ちを育てたい。また家族の思いや願いに応え、自分ができるところを実践しようとする態度を育てるため、この題材を設定した。

2 指導の流れ

(1) 事前指導

①母の日や父の日、敬老の日など、その時期に話題にして家族の大切さを話し合う。

(2) 事後指導

①長期休業中の「お手伝い」など、実践できた児童について紹介し、継続していけるように励ます。

②新聞やニュース等で命の大切さや家族の大切さに関することがあれば、この学習に関連づけて話題にする。

(3) 留意事項

保護者参観等を利用して行うことで、児童の実践への意欲化を図ることができる。家庭環境や家族構成は一人一人違うので、それぞれの家庭状況について把握しておくことが大切である。配慮が必要な児童が学級に在籍している場合には、言葉の使い方等に気をつける。

板書の例

家ぞくのためにできることをかんがえよう！！



たくさんお世話
になっている

- かぜやびょうきの時
- たんじょうびなどのおいおい

家ぞくの思い




- 大きくなってほしい
- けんこうで元気でいてほしい
- たのしく学校で生活してほしい

わたしにできること

学校で

- *げんきに学校へ行く

家族のために

- *お手つだいをする
- *

展開の例

| 時間 | 学 習 内 容 | 指導上の留意点 [評] 評価 |
|-----------------------|--|--|
| 10分 | 1 自分が生まれてから現在まで、たくさんお世話になって育ってきたことや大切な家族がいたことについて話題にし、本時の学習課題を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教師の体験などを交えながら、家族のありがたさについて考えさせる。 ・誕生日のお祝いなど大切な記念日を考えさせ、成長を喜んでいることについて確認する。 |
| 家ぞくのためにできることをかんがえよう！！ | | |
| 15分 | 2 家族のことについて話し合う。 (1)今まで面倒をみてもらったり、迷惑をかけてしまったりしたことについて話し合う。 ・病気の時に心配してくれた。 ・誕生日を喜んでくれる。 ・朝早くからごはんを作ってくれる。 ・私たちのために、働いている。 (2)面倒をみてくれる家族はどんな思いや願いがあるのか考え話し合う。 ・元気に大きくなってほしい。 ・学校に楽しく通ってほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・具体的に家族について話題にしなが話し合いを進める。 ・「家族の思いやりやありがたさ」の伝わる絵本等を活用し、読み聞かせながら話し合いを進めることもできる。 ・どのように大きくなってほしいのかなど、家族の思いや願いについて考えさせながら話し合う。 |
| 15分 | 3 家族の思いや願いに応えるために、今の自分にできることを考え、がんばりカードに記入する。 (1)学校のできること ・休まずに学校に行く。 ・学校の出来事を話してあげる。 ・勉強を頑張る。 「かんじ」「かけざん九九」など (2)家族のためにできること ○お母さんへ ○お父さんへ ・雨戸しめをする ・新聞を取ってきてあげる ○おじいちゃんへ ○おばあさんへ ・かたたたきをしてあげる | <ul style="list-style-type: none"> ・より実践しやすくするためにも、具体的なものを紹介し、称賛しながら活動を進める。 ・普段お世話になっていることや、家族からよく言われているようなことを思い出しながら記入させる。 ・感謝する気持ちを伝えていくためにも、家族一人一人についてより具体的に考えるよう助言する。 [評] 家族のためにできることを具体的に考え、実践しようとする。 (がんばりカード・話し合い) |
| 5分 | 4 記入した内容を確認し合い、教師の話聞く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分が決めたことを、実践すると家族が喜ぶことを確認し、今後の意欲づけを図る。 |

「家ぞくのためにできること」

がんばりカード

2年()組()番 名前()

- お世話せわになっている家ぞくのために、今の自分ができていることをかんがえてみましょう。
- 家ぞくによるこんでもらうために、どんなことができるかな？

わたしが「学校でがんばること」は

です。

わたしが「家ぞくのためにできること」

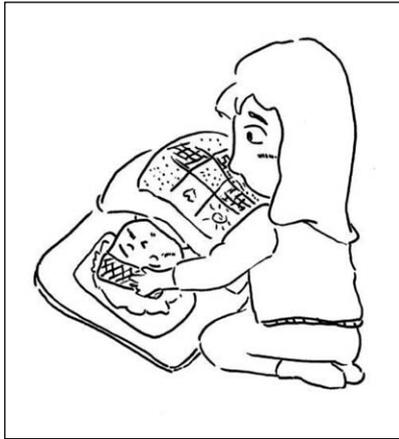
..... ^

わたしが「家ぞくのためにできること」

..... ^

*厚紙などに印刷しておき「家ぞくのためにできること」をカード化して、それぞれの相手に手渡しすることもできる。(枚数も増やすことができる。)

掲示資料



関連資料

*心のノート小学校1・2年「家ぞくが 大すき」

家ぞくが 大すき — 家ぞくって いいね

あなたのことを せかい中で一番 大じに 思っていて いるんだね。

家ぞくって いいなと 思うのは どのな としかな。

家ぞくの ねがいを 書いて もらおう

こんな 人に そだって ほしい。

あなたの ために なることを 一生けんめい 考えて くれて いるんだね。

家ぞくって いいね

すすんで、薬の 手つだい などをして 家ぞくの やくに 立てた ときの ことを 記さくして おこう。

大じな 大すきな 家ぞくだもん。 やくに 立てると いい気分。

お父さんが 帰ってきた。 とても つかれた 顔を していたので、ほくが、「おた、たたい おげようか。」と言つと、にこつと わらつた。ほくも、うれしく なつた。

はじめて、おるす番を しました。わたしは、弟が、ないてしまつたら、どうしよう と 思いました。でも、お母さんには、「はつてらっしゅう」と、にここして 言いました。

1番 2番

コラム①

自殺予防について、教師のできること・できないこと

いじめや自殺が起こると、マスコミは「なぜ発見できなかったのか」「どうして防げなかったのか」と教師の責任を追及します。しかし、「それ以上に、生徒の自殺の危険に早期の段階で気づいて、教師が適切な救いの手を差し伸べている場合が圧倒的に多い」と、ある精神科医も指摘しているように、実際には教師の誠実な態度が多くの子どもの自殺を防いでいるのです。

教師は子どもにとって身近な大人のモデルです。「先生、なぜ人は生きていかなければならないの」と問われたとき、真摯にその問いを受けとめ、長所もあれば短所もある生身の人間として、自分の言葉で答えることが大切です。そのためには、教師自身が自殺や死に対する自らの価値観を確認する機会をもつこと、そしてできれば、「人生そう捨てたものじゃないよ」と言えるように自らの経験を広げていくことが必要です。

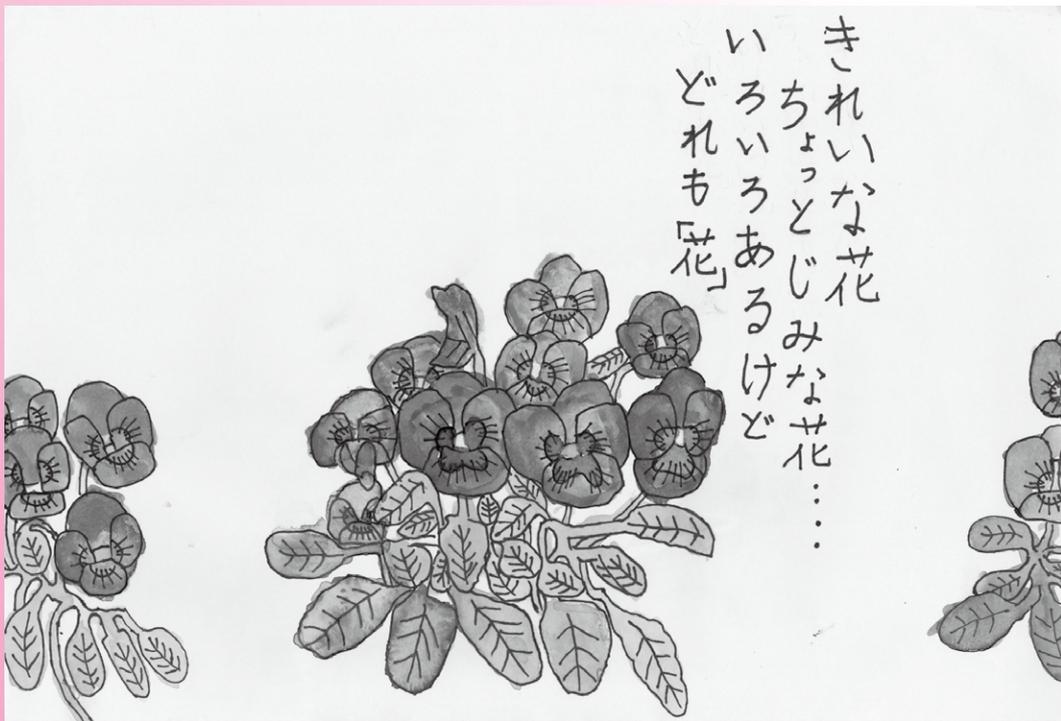
しかし、なかには防げない自殺もあります。教師は自分の限界を知りつつ、できるところで精一杯子どもに関わっていくことが大切なのではないでしょうか。専門性とは、「自分のできないことが何かを知っていること」だと言われます。自分の限界を知らずに万能感を抱いて子どもに関わることは、「共倒れ」という最悪の結果を招きかねません。そうならないためには、難しい問題にはチームで関わることです。問題を一人の教師が抱えこむのではなく、できるだけ多くの教師が組織的に関わることで、柔軟な子ども理解や丁寧な対応も可能となります。「三人寄れば文殊の知恵。一人でできないこともチームであたれば何とかできる。困ったことがあればどんどん相談する」と協働することの有効性や楽しさを教師自身が知り、子どもに伝えていくことは、教師自身のメンタルヘルスの観点からも、子どもの自殺予防の観点からもとても大切なことです。

日常ちょっと愚痴をこぼしたり、困っていることを気軽に相談し合える職場の人間関係を築くことができれば、職員室は教師にとっての「心の居場所」となるでしょう。そうすれば子どもたちも、苦しいときもあれば楽しいときもある、弱音を吐いたり相談することは恥ずかしいことではない、助け合うことで何とかできる、ということを実感していくのではないのでしょうか。教師にとっても、子どもにとっても「心の居場所」となるような学校づくりを目指していくことが、学校における最も本質的な自殺予防であるように思われます。

「教師が知っておきたい 子どもの自殺予防教育」より(平成21年3月)文部科学省

小学校中学年

花の絵



笠間小学校 4年 太田 一真

みんなでジャンプ

内容項目

2-(3) 友だちと互いに理解し、信頼し、助け合う。

自殺予防との関連

この時期の児童は、仲間意識が強くなり気の合うグループで活動することが多くなる。集団に入れない場合には、学校生活にも不具合が生じ不登校などの問題も発生する。孤立やいじめが自殺の原因となる場合もあり、健全な仲間集団の形成は大変重要である。

この資料では、相手を理解し助け合うことで成就感を味わう主人公たちの気持ちに触れることを通し、自他の存在や生命を大切にすることを育成したい。

板書の例

挿絵① 山田君の参加でうまいくいなくなっている様子。

挿絵② 公園で練習する山田君を陰で見入る3人。

挿絵③ 大きな夕日

本時のねらい

お互いに理解し合い、助け合ってよりよい仲間集団を形成しようという気持ちを育てる。

展開の例

| 時間 | 主な活動・発問と予想される反応 ○基本発問 ◎中心発問 | 教師の働きかけ 評 評価 |
|-----|---|--|
| 5分 | 1 みんなで力をあわせている場面の写真を見て話し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・価値への方向づけをする。 ・クラスで力を合わせて活動している写真を提示する。 |
| 20分 | 2 資料「みんなでジャンプ」を読んで話し合う。 ○山田君の参加でうまくいかなかった時、みんなはどんな気持ちだったでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・山田君のせいだ。 ・参加しなければいいのに。 ・これでは勝てない。あきらめよう。 ・もっと練習しよう。 ・がんばろう。 ○山田君はどんな気持ちで練習していたのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・学級の一員としてがんばりたい。 ・練習すればできるはずだ。 ・みんなの足手まといになりたくない。 ◎3人が何も言えずにその場を離れた時の気持ちを考えましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・山田君が本気で出たがっているのがわかった。 ・山田君が出なければいいと思ったことが恥ずかしい。 ・自分のことしか考えていなかった。 ・協力したい。 ・みんなでがんばりたい。 ○みんなは夕日に向かってなんと叫んだでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・3年1組、サイコー。 ・32人、全員参加。一致団結。 ・友だちってすばらしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・その場面の振り返りを通して価値への方向づけをする。 ・場面の様子を挿絵で示すことにより、登場人物の心情に迫りやすくする。 ・転校生であることや足の不自由であることへの遠慮がありながらも、山田君のせいだと思ってしまうみんなの気持ちを素直に表現させるため、受容的に聞く。 ・補助発問として、山田君が個人で練習している理由や、泥だらけになっても練習を続ける意味を問う。 ・山田君のお母さんの気持ちを補助的に問う。 ・直前の会話を確認めて、3人の気持ちの変化を明確にする。 ・山田君の気持ちと比べることで3人の気持ちをより明確にする。 ・ワークシートに書くことで思いを整理させるため、時間を十分にとる。 ・登場人物と同様の高揚感を味わわせるために自由発表とする。 |
| 10分 | 3 友達や学級を振り返る。 (1) 友達や自分の学級のよいところを考える。 (2) これからみんなでがんばっていきたいことをカードに書く。 (3) 発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身を振り返るための時間を十分に確保する。 ・お互いを理解し合い、助け合って達成したいことを書いたカードを数名分紹介する。 ・カードを教室に掲示することで、価値への到達を促したい。 評 自他を理解し合い、助け合っていこうという気持ちを持ち、表現している。 (発表、カード) |
| 5分 | 4 教師の説話を聞く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教師自身の経験を話したい。 |

みんなでジャンプ

ぼくたち3年1組は、今年の運動会で、「大なわとび」の優勝と新記録のダブル受賞をねらっている。クラス全員が3分間でいっせいにとべる回数を競う。みんなやる気になっていて、夏休みから練習した。はじめは息があわず、なかなかとべなかったけれど、夏休みが終わるころにはいいところまでいけた。この調子なら、本番のダブル受賞はまちがいない。

2学期になって転校生がやってきた。山田君という子だ。明るくて元気で、関西弁のおもしろい子。あっという間に仲良くなった。ところが…、山田君は足が悪かったんだ。赤ちゃんのころの病気のせいで、今でも片方の足がうまく上がらない。そんなこと、本当は関係ないんだけど、僕らにはダブル受賞という大きな目標が…。「へえ、おもしろいなあ。みんな、なかなかうまいなあ。」山田君は、当然のように大なわとびに加わった。…でも、やっぱりだめだった。山田君が入ったとたん、連続で3回か4回、うまく行って6回とぶのが限界だった。そのうちにあきらめムードがただよい、いつの間にか練習もしなくなっていた。

山田君が学校を休んだ。僕とマモルとカオルの3人は、先生からたのまれてプリントをとどけに、山田君の家によることになった。

「なあ、みんなでジャンプ、どうする？」

「山田君は足が悪いんだから、応援係になってもらおうよ。」

「全員参加が3年1組のモットーだろう。」

「なわ回しをやってもらえば？」

「足が悪いんだからよけいだめだよ。ふんばれないよ。」

「山田君、運動会、欠席しないかなあ。」

「……」

山田君の家の近くの公園まで来たときだった。

「もうやめとき。あんたにはやっぱむりや。」

「なにゆうてんねん。練習すればなんとかなるさかい…。お母ちゃん、3年1組はな、全員参加・一致団結がモットーなんや。かっこええやろ。」

「…そうやなあ、あんたも3年1組の一員なんやな。よっしゃ、練習しよか。」

山田君とお母さんは、どろだらけになって縄跳びの練習をしていた。僕らは何も言えず、その場を離れた。

次の日から、練習再開、特訓が始まった。作戦を何度もねり直した。山田君をはさんで、マモルとカオルが立つ。しっかりと肩を組んでとぶ。失敗すると、山田君が声をかける。「あきまへんな。」「なんとかなりまっか?」「ほな、がんばりまっせ!」その言葉でみんなが笑う。僕らは日が傾くまで練習した。毎日、毎日…。

運動会の当日「みんなでジャンプ」の優勝は3組。われらが3年1組の順位はビリ、記録は27回だった。けど僕らは「全員参加・一致団結」のモットーをかかぎてやりぬいたんだ。クラスみんなが満足だった。27回の記録は僕らの輝ける勲章だ。山田君を入れて32名。僕らは本当の仲間になった。

でっかい夕焼けがすごくきれいで、なんだか叫びたい気持ちになった。

「みんなでジャンプ」

3年()組()番 名前()

◎ 3人はどんな気持ちでその場を離れたのでしょうか。

Handwriting practice area for the first question, featuring a decorative border and three horizontal dashed lines.

☆ ()のいいところはどんなところですか。

Handwriting practice area for the second question, featuring a decorative border and three horizontal dashed lines.

☆ みんなでがんばっていきたいことは何ですか。

Handwriting practice area for the third question, featuring a decorative border and five horizontal dashed lines.

あたたかい言葉かけ

指導にあたって

1 題材設定の理由

自分の言葉が相手に与える影響を考え、日常生活の中で「ほめる」「励ます」「心配する」「感謝する」などの言葉かけをするのは、大切なことである。相手と信頼し合い、悩みを相談し合えるような好ましい人間関係を築けるようにしたいと考え、このあたたかい言葉かけのソーシャルスキルトレーニングの題材を設定した。

2 指導の流れ

(1) 事前指導

①この授業はソーシャルスキルトレーニングである。目的や学習上の約束を児童に説明をしておくことで授業にスムーズに入ることができる。(p30.参考資料参照)

(2) 事後指導

①チャレンジカードを用いて日常生活でスキルを実践し、帰りの会などで、振り返る時間をもつ。スキルを使うことができた児童を称賛し、フィードバックしていくことで定着化を図る。

②授業で使った「あたたかい言葉かけのポイント」は教室に掲示し、常に児童の目に入るようにして意識づけを図るとよい。

3 参考文献

「実践！ソーシャルスキル教育小学校編」（佐藤正二・相川充編）（図書文化社）

板書の例

あたたかい言葉をかけよう

あたたかい言葉 = 「ありがとう」「よくできたね」「大丈夫?」「がんばったね」「すごいね」「がんばれ」



- 困っている
- 恥ずかしい
- 痛い

(子どもの意見)



やくそく ・ふざけない ・はずかしがらない
 ・からかわない

あたたかい言葉かけのポイント

- ①相手をよく見て
- ②近づいて
- ③聞こえる声で
- ④いい顔で



(子どもの意見)

展開の例

| 時間 | 学習内容 | 指導上の留意点 評価 |
|--------------|---|---|
| 5分 | 1 あたたかい言葉について知る。 ・親切な言葉, 慰めの言葉, 感謝の言葉, ほめ言葉など 2 本時の学習課題を確認する。 | ・友達と話していて嬉しい気持ちになるのはどんな言葉を言ってくれた時か考えさせる。 ・あたたかい言葉について説明する。 |
| あたたかい言葉をかけよう | | |
| 15分 | 3 A子が転んで泣いている問題場面について, A子の気持ちとどのようなあたたかい言葉をかけるとよいかを考える。 ・A子の気持ち…困っている, 恥ずかしい, 痛い など ・言葉かけ…大丈夫? 保健室へ行く? 痛くないよ など 4 あたたかい言葉かけのポイントを理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> あたたかい言葉かけのポイント ①相手をよく見て ②近づいて ③聞こえる声で ④いい顔で </div> 5 あたたかい言葉をかけられた相手の気持ちを考える。 ・嬉しい, その人が好きになる, 勇気が出る, 気持ちが楽になるなど | ・児童にできるだけ意見を出させ, 様々なあたたかい言葉があることに気づかせる。 ・教師がロールプレイングを行い視覚的に教示することでよいモデルを示す。 ・A子役は児童にさせる。 ・左記のポイントは必ず声に出して伝えるようにする。 ・あたたかい言葉をかける時には, 表情やしぐさなどの非言語的表現も大切であることを理解させるようにする。 ・A子役の児童にも言葉をかけられた時の気持ちを聞く。 |
| 20分 | 6 あたたかい言葉をかけあう練習をする。 (1) 学習上の約束をする。 ・ふざけない ・恥ずかしがらない ・(人のロールプレイングを) 笑わない (2) 提示された場面での練習を行う。 「清掃中にバケツの水をひっくり返してしまった友達」の場面 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">  </div> (3) 代表で何組か前で演じる。 | ・学習上の約束は強調し, 意識させる。 ・隣の人とペアになって, あたたかい言葉をかける練習をさせる。役は順番に交代する。 ・よくできているペアを称賛して, 雰囲気高めめる。 ・代表数組にロールプレイングをさせる。バケツなど小道具を用意して行わせ, 見やすいように配慮する。言葉かけの上手なところを皆で称賛する。 |
| 5分 | 7 学習のまとめをする。 ふりかえりカードを記入して, 授業で感じたことを発表し合う。 | 評 あたたかい言葉のかけ方を理解し, 今後の生活の中で実践しようとしている。 (観察・ワークシート) |

あたたかい言葉かけ

ふりがえりカード

年 組 名前 _____

1 あたたかい言葉かけはできましたか？下の表に◎、○、△を書きましょう。

| あたたかい言葉かけのポイント | ◎ ○ △ |
|----------------|-------|
| 1 相手の目をきちんと見て | |
| 2 近づいて | |
| 3 聞こえる声で | |
| 4 いい顔で | |

2 あたたかい言葉のかけ方は、どうすればよいか分かりましたか？
あてはまるところに○をつけましょう。

| | | | |
|--------|----------|------------|---------|
| よく分かった | だいたい分かった | あまり分からなかった | 分からなかった |
|--------|----------|------------|---------|

3 これからの生活で、「あたたかい言葉かけ」ができそうだと思いますか？
あてはまるところに○をつけましょう。

| | | | |
|-----|--------|---------|------|
| できる | たぶんできる | たぶんできない | できない |
|-----|--------|---------|------|

4 今日のじゅぎょうで感じたこと・考えたことを書きましょう。



掲示資料

*学級の実態に応じて場面を工夫する。



参考資料

▶「ソーシャルスキルトレーニング（SST）について」

良好な対人関係を営むための知識と技術のことを「ソーシャルスキル(以下SS)」と言います。適切なSSをもっている子どもは、友達や同級生と上手につき合うことができます。一方、対人関係に困難さを感じている子どもは、適切なSSを学んでこなかったか、不適切なSSを学習してしまったと考えられます。実際、SSの不足は学校不適応やいじめ、不登校、さらには学業成績などとも関連していると指摘されています。

SSは学習し、身に付けることができます。ソーシャルスキルトレーニングは、以下のように学習を進めます。

- ①インストラクション…教えようとするスキルの重要性に気付かせながら、言葉でスキルを教える。
- ②モデリング…スキルの良い手本を見せて真似させる。
- ③リハーサル…スキルを子どもの頭の中や実際の行動で何回も練習させる。
- ④フィードバック…やってみたことを褒めたり、修正したりして、子どもの実践意欲を高める。
- ⑤般化(定着化)…練習したスキルを日常生活で使えるように促す。継続させる。

例えば、友達の遊びに加えてもらうにはどうすればよいのか、仲直りするには何と言えばよいのか、初対面の人に会う時にはどう接すればよいかなど、適切な対人行動についての基本的な知識を教えます。また、人間関係に関する一定のルールやマナーについても教える必要があります。あわせて対人目標の重要性(例えば相手を言い負かすことと、相手との友好関係を続けることと、どちらがその場の対人目標として重要なのか)などについて学習します。

小学校でSSTを行う時は「人間関係がうまくいくための学習」「友達ともっと仲良くなるための技術を練習する」「社会のルールやマナーについて学ぶ授業」など、授業の目的をきちんと説明し、ロールプレイングなどを笑わずしっかりとやることが大切です。また、学習後、日常生活で継続してスキルを使う場を意図的に設定し、定着化を図ります。

▶事後指導資料の例
～チャレンジカード～

あたたかい言葉かけ

チャレンジカード

楽しく・気持ちよく・まわりの人とつきあうワザをみがこう。

年 組 名 前 _____

あたたかい言葉かけができましたか？
 今日一日をふりかえってみましょう。
 とてもよければ ◎
 まあまあできたら ○
 もう少しがんばらないといけないと思ったら △
 をつけましょう。

あたたかい言葉かけのポイント

- 1 相手の目をきちんと見て。
- 2 近づいて。
- 3 聞こえる声で。
- 4 いい顔で。



| | 月 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 |
|---------------------------------------|---|---|---|---|---|---|
| 1 じゅぎょう中や休み時間、友だちや先生にあたたかい言葉かけができました。 | | | | | | |
| 2 家に帰って、おうちの人や友だちにあたたかい言葉かけができました。 | | | | | | |

▶SST授業後のポイント
～スキルを定着化させるために～

学校で教えたスキルが日常生活において定着する(これを専門用語で「般化」と言います)ために、授業後はスキル使用に対する繰り返し・継続の取組が大変重要になります。教えたスキルを機会あるごとに思い出させる、どんな日常場面で使えるか考えさせる、宿題を出して教室以外の対人行動を記録させる、というようなことを行います。

例えば、実行に移しやすいようにチャレンジカードを活用し、朝の会・帰りの会で簡単なスキル指導の時間を設ける、学校行事の時にスキルを意識して使うように励行するなどが考えられます。そして、子どもたちが適切なスキルを使ったときは確実に褒めて認めてあげて、行動を強化します。毎日の実行について、的確な評価を与え賞賛することによって、できるようになった喜びを子どもに味わわせてください。

教室での振り返りばかりでなく、様々な機会を利用してSSの行動化を評価しましょう。授業者の指導だけではなく、学級通信などで家庭の協力を求めたり、他教師と連携して多くの励ましをしたりするなど、たくさんの目を通してSSの定着化を見守るとよいでしょう。

～ 雨 ～ 星野富弘

内容項目

2-(2)相手のことを思いやり、進んで親切にする。

自殺予防との関連

この時期の児童は、相手の気持ちを自分におきかえて、より深く理解し、自らの行動を考えることができるようになってくる。しかし相手の気持ちが理解できても、実際の行動に移せるかと言えば「恥ずかしさ」などが前面にたち、適切に行動できないことも多い。

そこで、この資料を通して、相手の現在の状況や、困っていることなどを想像することを通して、相手のことを思いやり、自ら進んで親切な行為を行おうとする気持ちを育てていきたい。

板書の例

| | | | | | | | |
|---------------|----------------------|------------------------------|---------|---------------|--------------|----------------|--------------------|
| 相手のことを考えた親切とは | ○ 黙って帰って行った女の子 .. | 車いすののっている星野さんの 絵や写真 .. | ○ ありがとう | 女の子の顔の絵 .. | ○ 後をつけてきた女の子 | 星野さんの 描いた絵 | 雨 星野 富弘 星野 富弘さん |
| | | | | | | 資料 星野さんについて | |

本時のねらい

周囲に対して思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる。

展開の例

| 時間 | 主な活動・発問と予想される反応 ○基本発問 ◎中心発問 | 教師の働きかけ □評価 |
|-----|--|---|
| 5分 | 1 作者「星野富弘」について紹介する。 ・きれいな絵だね。 ・口で描いているなんてすごい。 | ・星野さんの作品や資料の提示を通して、手足が不自由なことや筆を口にくわえて作品を描いていることなどを伝える。 |
| 15分 | 2 資料「雨」を読んで話し合う。 ○女の子は、どんなことを思いながら黙って星野さんの後についてきたのでしょうか。 ・大丈夫かな。車椅子なのに。 ・何かあったら手伝おう。 ・声をかけようかな。どうしようかな。 ○星野さんは、どんなことを思って「ありがとう」と言ったのでしょうか。 ・心配してくれてありがとう。 ・黙ってそばにいてくれてありがとう。うれしかった。 ◎女の子は、どんなことを思いながら黙って帰って行ったのでしょうか。 ・よかった。無事に家について。 ・迷ったけれど、家まで来てよかった。 ・安心した。 | ・作者の状況について説明し、ねらいとする価値への方向づけを図る。 ・できれば資料については実物を用意して提示したい。 ・総合的な学習で「福祉体験」や「車椅子体験」を行っている場合は、その時の状況を想起させながら、女の子の行動や気持ちに対して共感させたい。 ・「車椅子で雨に降られた日のこと」という言葉を押さえ状況を確認する。 ・星野さんを思いやる女の子の気持ちは十分に伝わっていることを押さえ、中心発問へとつなげていきたい。 ・星野さんにお礼を言われて「ついてきてよかった」とすがすがしい気持ちになった女の子の気持ちをじっくりと想像させ発表させる。 |
| 20分 | 3 自分を振り返り、相手のことを考えた親切について考える。 ○あなたは、困っている人を見た時、親切にすることがありますか。その時、どんな気持ちになりましたか。 ・迷子になって泣いている子がいたのでお母さんがくるまで一緒に待っていてあげた。一緒に待っていてあげてよかったと思った。 ○あなたは、これからどんな気持ちでまわりの人に親切にしていきますか。 ・相手の立場になって親切にしていきたい。 | ・発表した児童の行いを称賛する。褒めることを通して、何気ない行動でも、困っている相手にとってはとてもうれしいことだと気づかせたい。 □ 相手のことを思いやりながら親切にしていこうとする気持ちを持ち、表現している。 (ワークシート・発表) |
| 5分 | 4 教師の説話を聞く。 | ・思いやりの気持ちをもって親切にした時の体験談を話す。 ・授業後、星野さんの絵や詩集等を教室に掲示し価値への定着を図る。 |

～雨～ 星野 富弘



じかがいも火の横の道を
 その子は後をつけてきた
 妻畑をすぎ
 草茎場の角をまがって
 桃色のスカート揺ら
 心配そうにうらな
 「ありがとう」
 家のそばで私という
 その子は黙って
 帰って行った
 くるま椅子で
 雨に降られた日のこと

資料 星野 富弘のあゆみ(略年表)

| | |
|-------|---|
| 1946年 | 群馬県勢多郡東村(今のみどり市東町)に生まれる。 |
| 1970年 | 4月 群馬大学を卒業し、中学校の体育の先生になる。 |
| | 6月 クラブ活動の指導中、誤って首の骨を折る。手足が全く動かなくなる。群馬大学附属病院に入院する。 |
| 1972年 | 口に筆をくわえて花の絵をかき始める。 |
| 1979年 | 4月 あごのレバーで動く電動車いすが完成し、使い始める。 |
| | 9月 回復しないまま退院し、故郷の自宅に帰る。エッセイなどを作る。 |
| 1991年 | 東村に富弘美術館が完成する。 |

「～ 雨 ～ 星野 富弘」

4年()組()番 名前()

○ 女の子は、どんなことを思いながら黙って帰って行ったのでしょうか。

Writing area for the first question, featuring a decorative border and horizontal dashed lines.

☆ あなたは、これからどんな気持ちでまわりの人に親切にしていきますか。

Writing area for the second question, featuring a decorative border and horizontal dashed lines.

友だちのすてきなところを見つけよう

指導にあたって

1. 題材設定の理由

小学校4年生はギャングエイジと呼ばれ、日常生活や学習、遊びと、元気に学校生活を送る時期である。一方で、同世代であっても特に認めた相手としか友人関係を結ぼうとしない傾向も見られる。閉鎖的な子どもの仲間集団が発生し、付和雷同的な行動が見られ、ケンカやトラブルが頻繁に発生することもある。この時期に自分のよさや友だちのよさに積極的に目を向け、認め合おうとする態度を育てることが自己存在感や自己有用感を育むことにつながると考え、この題材を設定した。

2. 指導の流れ

(1) 事前の指導

- ①生活状況調査、いじめに関する調査、学級集団への所属感に関する調査などを実施し学級の現状を把握しておく。
- ②事前にグループの友だちを1日観察してすてきなところを見つけさせ記録させる。

(2) 事後の指導

- ①友だちにお礼の手紙を書く。
- ②ワークシートを学級掲示し、お互いに確認できるようにさせる。

3. 参考文献

「人と人とを結び思いやる心を育てる授業－確かな人間関係を築く実践プラン44－」(安達昇著編) (小学館)

板書の例

友だちのすてきなところを見つけよう

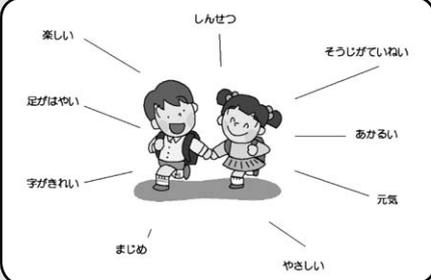
大リーグで活躍している

ヒットをたくさん打つ

イチロー

みんなに夢をあたえる

足が速い



楽しい、足がはやい、字がきれい、まじめ、やさしい、しんせつ、そうじがていねい、あがるい、元気

班の友だちのすてきなところを手紙に書こう

班で発表しよう

みんなに知らせよう

展開の例

| 時間 | 学習内容 | 指導上の留意点 評価 |
|-------------------|--|---|
| 5分 | 1 身近な人物のすてきなところを考え発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・身近な人物（イチロー、石川遼、AKB48、先生など）を取り上げて、その人物のすてきなところを自由に出させる。 ・今まで学級で互いに協力し、助け合い、支え合って活動してきたことをほめながら、互いに認め合おうとする学習の雰囲気づくりに努める |
| 3分 | 2 本時の学習課題を確認する。 | |
| 友だちのすてきなところを見つけよう | | |
| 15分 | 3 友だちの「すてきなところ」を見つけようの学習に取り組む。 (1)学習の進め方を確認する。 (2)班の友だちのすてきなところを見つけ手紙（ワークシートや付箋を利用する）に書く。 「親切」「楽しい」「足が速い」 「ピアノがうまい」「字がきれい」 「そうじがていねい」など | <ul style="list-style-type: none"> ・すてきなところ探しの視点を例示し、いろいろな角度から友だちのすてきなところを見つけられるようにする。 ・ワークシートは回して使い、友だち1人につき3つのすてきなところをまとめさせる。（学級の実態に応じて、付箋等を利用し個々に記入させることもできる。） ・BGMを流して、各自が穏やかな気持ちで取り組めるようにする。 |
| 15分 | 4 ワークシートに書かれた内容について班内で発表し合う。 ・自分のよさをみつけてもらってうれしかった。 ・こんなところをみてくれていたんだ。 ・よいところを見つけてあげることは、とてもいいことだ。 | |
| | 5 ふりかえりカードにまとめる。 | |
| 5分 | 6 教師の話を聞く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・あさがしよりも人のよさを見つけることで、お互いにあたたかい関係になれることを説明し、今後の生活で実践できるよう意欲づけを図る。 <p> 評 友だちのよさに気づきお互いのよさを認め合おうとしている。 （ワークシート・ふりかえりカード） </p> |

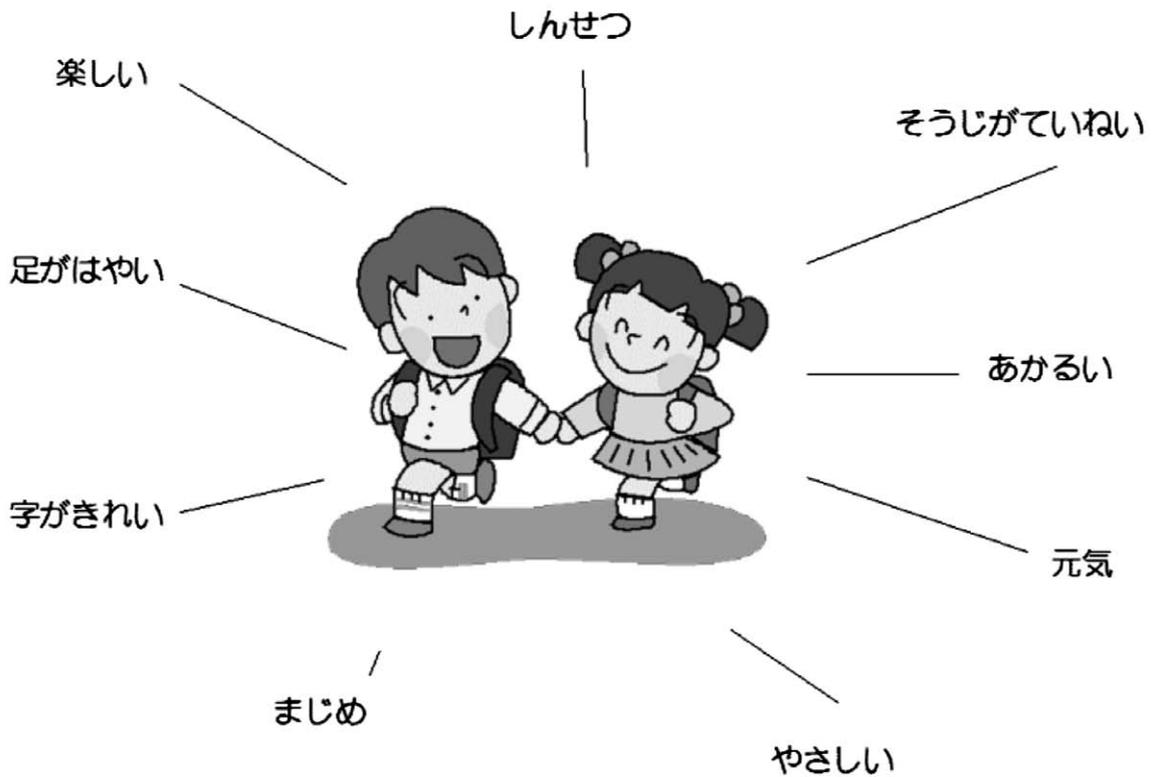
友だちのすてきなところを見つけよう

さんへ

| 友だちの名前 | あなたのすてきなところ |
|--------|-------------|
| より | |
| | |
| | |
| より | |
| | |
| | |
| より | |
| | |
| | |

(グループ活動用のワークシート)
 ※学級の実態に応じて、個々に付箋等にかかせて貼り付けることもできる。

すてきなところ探しのポイント



すてきなところ探しのポイント

4年()組()番 名前()

- 1 今日の授業をふりかえっての感想を教えてください。
(自分の気持ちに一番近いものの数字を○でかこんでください)

| | その通り | ややその通り | あまりその通りではない | その通りではない |
|--------------------------------------|------|--------|-------------|----------|
| ①今日の授業は楽しかった | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ②友だちのすてきなところを見つけ、それを友だちに伝えることができた | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ③友だちから伝えてもらったことから自分のすてきなところを知ることができた | 4 | 3 | 2 | 1 |
| ④自分自身を知ることが大切で、これからも考えたいと思った | 4 | 3 | 2 | 1 |

- 2 今日の授業をふりかえって、感じたことや思ったことを自由に書いてください

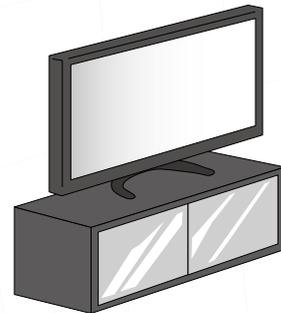
コラム②

群 発 自 殺

ある人物の自殺が引き金となって同じような問題を抱えた人々が次々に自ら命を絶つ現象を「群発自殺」と呼びます。とくに若者は、群発自殺に巻き込まれる危険が高い世代とされています。家族や知人といった強い絆で結ばれていた人の死が精神的な打撃となることはもちろんですが、直接知らなくても有名な歌手や俳優の自殺が繰り返しセンセーショナルに報道されると、自己を自殺者に重ね合わせ、その結果複数の自殺が生じるという事例は古今東西にみられます。古くはゲーテの『若きウェルテルの悩み』（1774年）が出版された直後に、失恋して銃で自殺した主人公と同じ手段で自殺した多くの若者がいたことが伝えられています。日本でも、1986年にアイドル歌手が飛び降り自殺した直後に続出した後追い自殺や、2006年冬から2007年春にかけて起こったいじめ自殺の連鎖などがその典型とされています。

特に高度に情報化された現代社会において、群発自殺が拡大していくうえでマスメディアやインターネットの及ぼす影響にはきわめて大きなものがあります。学校や家庭で子どもたちに情報を使いこなす能力を高める努力を進めるとともに、マスメディアも自殺報道のもたらす危険な側面について配慮し、自殺予防につながるような報道姿勢をもつことが望まれます。

また、他者の死を受け入れていくうえで周囲からの心のサポートが得られた場合とそうでない場合とでは、心理的な打撃に大きな違いがあります。直接的であれ、間接的であれ、精神的に重要なつながりのあった人の死を知って動揺している子どもの中には自殺の危険が高まっている子どもがいる可能性を考え、適切な対応をすることが求められます。



「教師が知っておきたい 子どもの自殺予防教育」より（平成21年3月）文部科学省

小学校高学年

長い長いペンギンの話



友部小学校 5年 青木 大祐

たった一つの命だから

内容項目

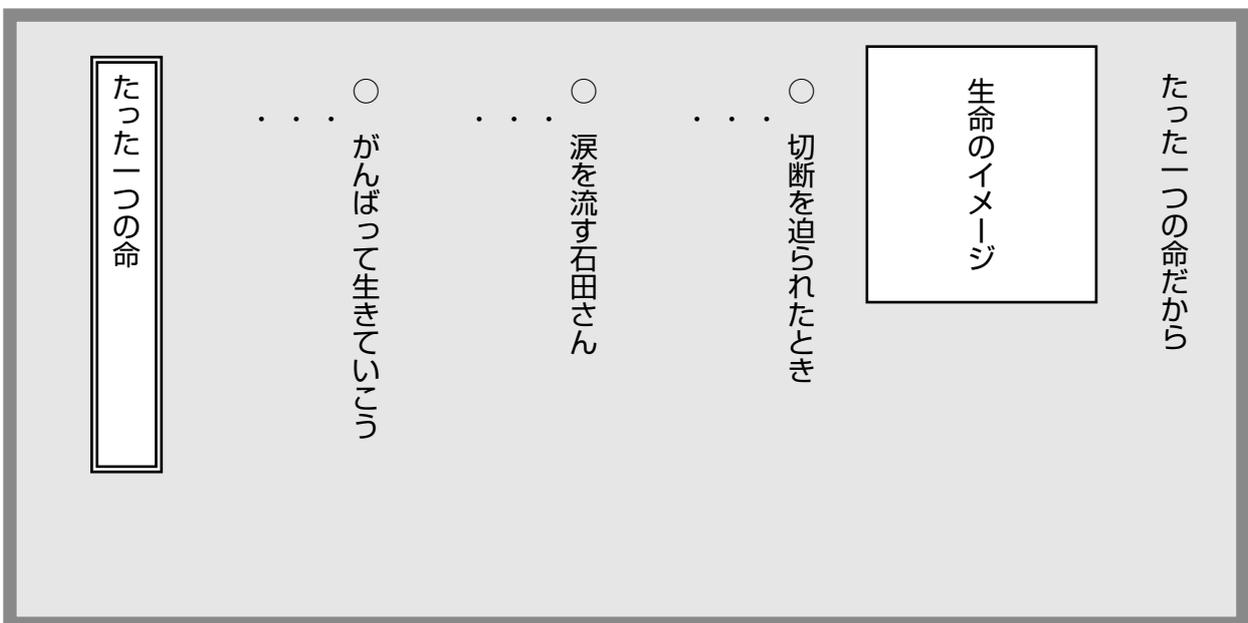
3- (1) 命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。

自殺予防との関連

この段階の児童は、生命の誕生から死に至るまでの過程や、様々な人々との支え合いの中で一人一人の生命が育まれることなどを理解できるようになってくる。

本資料は右腕を失っても生きることを選んだ少女の生き方と、少女の言葉に勇気づけられた小学校5年生の女の子の手紙から構成されている。少女の言葉に勇気をもらった女の子の心情に寄り添うことで、生命の大切さについて考える態度を育成したい。

板書の例



本時のねらい

生命について考え、自分の生命を大切にする態度や心情を育てる。

展開の例

| 時間 | 主な活動・発問と予想される反応 ○基本発問 ◎中心発問 | 教師の働きかけ [評] 評価 |
|-----|---|---|
| 5分 | 1 「生命」という言葉からイメージしたことについて発表する。 ・大切なもの、尊いもの。 ・代わりのないもの。 ・親から子へ連続していく。 | ・それぞれのもつ「生命」のイメージを伝え合うことで価値への方向づけをする。 ・骨肉腫という病気について簡単に説明し資料への関心を高める。 |
| 25分 | 2 資料「たった一つの命だから」を読んで、話し合う。 ○右腕の切断を迫られた石田さんはどんな気持ちだったでしょう。 ・なぜ私がこんな目にあうのだろう。 ・右腕を失いたくない。 ・死にたくない。 ・生きたい。 ・絶対に病気には負けない。 ○お父さんの話を聞いて石田さんが涙を流したのはなぜでしょう。 ・自分の言葉が女の子を救ったから。 ・誰かの役に立てたから。 ・うれしかったから。 ・自分の分まで生きてほしいから。 ◎女の子ががんばって生きていこうと思えた理由は何だと思えますか。 ・石田さんの言葉に感動したから。 ・自分より大変な石田さんががんばっているから。 ・お母さんに打ち明けることができたから。 ・お母さんの言葉がうれしかったから。 ・勇気を出せたから。 | ・生きることの重さを感じさせるため石田さんが切断を決断するまでの葛藤をたどらせた い。 ・生きることを決断した石田さんに共感させたいが他の意見も受容的に受け止めたい。 ・少人数で話し合う場面も設定できる。 ・流した涙の理由だけでなく、その心情に迫るように発問を工夫する。 ・石田さんの命が女の子につながっていくイメージをもたせたい。 ・打ち明けられた母親の気持ちを想像させるような発問も補助的に扱いたい。 ・石田さんの生き方や母親の愛情から勇気をもたらしたことに気づかせたい。 |
| 10分 | 3 自分の生活について考える。 ○「たった一つの命」ということについて感じたことを書いてみましょう。 | ・自分と向き合う時間を十分に確保する。 ・BGMを使用するのも効果的である。 [評] 生命の大切さについて真剣に考え、自分の言葉で表現している。(ワークシート・発表) |
| 5分 | 4 教師の説話を聞く。 | ・生命の有限性や連続性など、かけがえのない生命についての話をしたい。 ・ストレスマネジメントや相談スキル学習のきっかけとしたい。 |

たった一つの命だから

こつにくしゅ 骨肉腫で右腕を切断した後も、前向きに生き続けた石田裕子いしだ ゆうこさんは、2011年に16才の生涯しょうがいを終えました。

石田さんは小さいころからかぜひとつひかない子でした。中学1年のときに右腕に骨肉腫という病気が見つかりました。病気の進行が早く、腕を残すか、切断して命を救うかを決めなければならなくなりました。「生きたい」と石田さんが決断し、右腕切断の手術を受けました。手術前日、病院でお母さんとテニスをしたのが右腕を使った最後になりました。石田さんはその年、年賀状に「腕がなくても、頑張っ生きて生きるよ。たった一つの命だから。」と左手で書きました。

石田さんの年賀状をきっかけとして、命の大切さを考えるプロジェクトが始まりました。しかし、腫瘍しゅようが肺に転移し、闘病生活とうびょうを送っていた石田さんはその活動に参加することができません。どんな思いでいたことでしょうか。そんな時、お父さんが「学校でいじめられていた女の子が、『たった一つの命だから』という言葉聞いて自殺を思いとどまったそうだよ。」と伝えると、涙を流していたそうです。

これはその女の子からの手紙です。

石田さんへ

わたしは小学5年生の女子です。いつも学校でいじめられていました。たとえば、いやなあだ名で呼ばれたり、クラス中から無視されたりしました。シューズや持ち物をかくされたり落書きされたりしたこともありました。仲のよかった友達もいじめグループに入ったり、知らん顔をしたりしているので相談できませんでした。「ちくった」とよけいにいじめられるので先生にも言えませんでした。お母さんは一人で私たち姉妹を育ててくれています。私がいじめられていると知ったら悲しみます。だからお母さんにも言えませんでした。だれにも言えず悩んでいました。でもだれかに聞いてほしかったです。死んだらいじめられないかなと思うこともありました。学校へ行くのがいやでした。

テレビで石田さんの年賀状のことを知りました。「腕がなくても、頑張っ生きて生きるよ。たった一つの命だから。」という言葉聞いて涙が出てしまいました。それで勇気が出ました。だから、お母さんに話しました。お母さんも涙を流しながら「話してくれてありがとう。気がつかなくてごめんね。絶対に死んだりしないでね。」とってくれました。

石田さんありがとうございます。わたしはいやなことがあっても死んだりしません。がんばって生きていこうと思います。本当にありがとうございます。

石田さんも治療をがんばってください。

「たった一つの命だから」

5年()組()番 名前()

◎ 女の子が、がんばって生きていこうと思えた理由は何でしょう。

Writing area for the first question, featuring a decorative border and horizontal dashed lines.

☆ 「たった一つの命」について感じたことを書いてみよう

Writing area for the second question, featuring a decorative border and horizontal dashed lines.

友だちから相談されたら

指導にあたって

1 題材設定の理由

小学校高学年となると、集団生活の中の人間関係等、様々な不安や悩みを抱く時期である。集団の中で誰にも相談できず、一人で悩みを抱え込んでしまうような問題は長期化することが多い。悩みを抱え込んで追い詰められてしまう前に誰かに相談すること、周囲の人は様子のおかしいことに気づいたら声をかけてあげること、相談されたら真剣に苦しみを受け止めること、さらに信頼できる大人に相談する(つなぐ)ことなどは身につけさせたいスキルである。

これらのスキルを身近な学校生活の中で実践できるようにするため、この題材を設定した。

2 指導の流れ

(1) 事前指導

① 困ったこと(不安や悩み)は、相談することで自分が安心できることを話題にしておく。

事前アンケート(資料)を実施し活用することができる。

② 相談してよかったことや相談されたことなど、教師の体験談や学級内での出来事などを話題にしておく。

(2) 事後指導

① 具体的な事例をとりあげ「困ったときには相談すること」や「相談されたときの対応の仕方」について話題にする。また、学級内でよい事例等があったら紹介する。

板書の例

友だちから相談されたときどうすればよいか？

見かけたら・気付いたら

↓

声をかける (あたたかい言葉)
「どうしたの？」
「何かできることある？」

様子のおかしい友だち



→

様子のおかしい友だち
誰かに相談する
友だち 先生

・聞き方によって ●話が續かない
●いやな気分
(もうイヤや・・・)

○相談してよかった。

大切なポイント

↓

身につける能力(スキル)

- ① (様子のおかしい友だち) 気が付いたら「声をかける」
- ② 相手を見て真剣に話を聞く。
【あたたかい言葉かけ】
- ③ 相談のひみつを守る。
- ④ 特に重大な問題は助けを求める。
【信頼できる大人に相談する。】

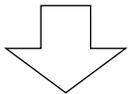
展開の例

| 時間 | 学 習 内 容 | 指導上の留意点 評 価 |
|----------------------|---|---|
| 10分 | <p>1 困ったこと（不安や悩み）があったときに相談することが大切であり，集団生活の中では，身近に友だちの存在がありお互いに思いやりをもって生活することの大切さについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何かあったら相談することは大切だ。 ・見かけたら声をかける。 (あたたかい言葉で) <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・困ったこと（不安や悩み）は誰かに相談することによって，気分が和らぐことを確認する。教師の体験なども伝える。 ・何かあたら誰かに相談することは大切な「スキル：能力」であることを確認する。 ・様子のおかしい友だちに気づいたら声をかけてあげると相手が相談しやすくなることを伝える。 |
| 友だちから相談されたらどうすればよいか？ | | |
| 20分 | <p>3 具体的な事例をもとに，どのような対応をするか話し合う。</p> <p>(1)具体的な事例場面のロールプレイングの様子を見る。 =対応例= 対応① 相手を見ずに何気なく聞く。 対応② 「大丈夫だよ」と話をよく聞かずに励ます。 対応③ 相手を見て真剣に話を聞こうとする。</p> <p>(2)対応①～③の事例について，感想を発表しながら話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できないから相談したのに・・・。 ・対応によっては，相談しにくくなる。 ・真剣に聞いてあげることが大切だ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・相談されたときの対応の仕方について話し合うことを確認する。 ・教師がロールプレイングを行う。(他の教師に協力を依頼し，2人で行うと効果的である。) 今までの積み上げのある学級では，児童に行わせることができる。 ・ロールプレイングは，学級の実態に応じて事例ややり方などを工夫する。 ・教師がしっかり相談側や対応側の役割になりきって話し合いを進める。 ・対応③の事例については，相談側が安心して，相談が続いて行くことについて確認する。 <p>評 相談されたときにどのように対応すればよいか対処の仕方を理解している。 (話し合い・観察・ワークシート)</p> |
| 10分 | <p>4 ワークシートに，相談された時の大切なポイントについてわかったことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真剣に聞いてあげることが大切だ。 | <p>身につける能力（スキル）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① (様子のおかしい友だち) 気が付いたら「声をかける」 ② 相手を見て真剣に話を聞く。 【あたたかい言葉かけ】 ③ 相談のひみつを守る。 ④ 特に重大な問題は助けを求める。 【信頼できる大人に相談する。】 |
| 5分 | <p>5 本時の学習でよかったことを称賛し，相談することの大切さとともに，相談されたときにどうすればよいか，右表のスキルを確認しまとめる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・③④が児童から出ない場合は教師が必ずおさえる。 |

5年()組()番 名前()

不安や悩みはだれにでもあります。一人で悩まずに相談できることも大切な能力(スキル)です。また、まわりの人が、気がついたり見かけたりしたら声をかけてあげることによって、相手が相談しやすくなります。相談することの大切さや友だちから相談されたときに気をつけることを覚えて、実践できるようにしましょう。

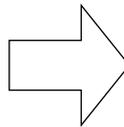
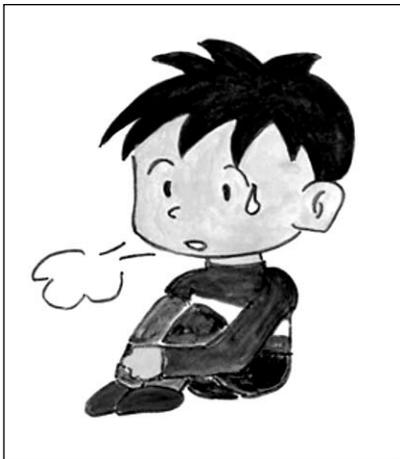
見かけたら・気付いたら



※1 声をかける(あたたかい言葉)

様子がおかしい友だち

困ったこと(不安や悩み)があったら



※2 相談する。
友だち
家族 先生

こんなこと相談されたらどうする？

みんなから、からかわれているんだ。イヤなあだ名でも呼ばれている。学校なんか行きたくないよ!!

次のような対応をどのように思いますか？

対応①

対応②

対応③

相談されたら・・・(大切なポイントをまとめましょう)

※3 =まとめの例=

- ・ 真剣に話を聞いてあげる。
- ・ あたたかい言葉をかける(ひやかさない!)
- ・ ひみつを守る
- ・ (先生や家族)に伝える(相談する)

※1～3は消して活用する。

ロールプレイング：事例

Aさんの相談：「みんなから、からかわれているんだ。イヤなあだ名で呼ばれている。
 (「死ね」と言われる) 学校なんか行きたくないよ!!」
 ※学級の実態によって工夫する。

対応① 相手を見ずに何気なく聞く。(本などを読みながら対応する)
 Bさん「ふーん、それで……。先生にでも相談すれば……。」

対応② 「大丈夫だよ」と話を真剣に聞かずに励ます。
 Cさん「そんなことたいしたことないよ。へっちゃらだよ。ぼくもそうだったんだ。」

対応③ 相手を見て真剣に話を聞こうとする。
 Dさん「そんなことがあったんだ。それは大変だったね。」
 *さらに悩みを聞き出すことができる。次へとつなぐ。
 *相談が続いて行く場合はどれか、なぜ続いて行くのか、話し合うことができる。

資料

このアンケートは、学級がより楽しくなり、みんなで協力きょうりょくできるようにするために行います。学級の一人一人を大切にしていくなために、みなさんが今までに体験たいけんしたことや考えたことなどを記入してください。

名前

1 不安ふあんなこと・心配しんぱいなことやいやなことがあったとき
 (1) だれかに相談そうだんしてよかったことがあれば、簡単かんたんに書いてください。

例 お兄ちゃん に 友だちとけんかしたこと を 相談してよかった。
 理由 お兄ちゃんに、「おまえも悪いのだからあやまるといいよ」と言われた。
 あやまったら、仲直りができた。

○ _____ _____ 相談してよかった。

理由

(2) 相談そうだんしようと思ったけれどできなかったことはありますか？

ある ない

2 心配しんぱいなことやいやなことがあったときに相談そうだんできる人、困こまったときの助けてくる人はみなさんの身近そばにいますか？また、相談そうだんしようと思う人はいますか？(考えて書いてみましょう。)

※このアンケートは、名前などは公表せず、秘密であることを伝えるようにする。アンケートを行う前に、ねらいや趣旨について、しっかり担任から伝えておくようにする。

「死」という言葉をどう受け止めますか？

指導にあたって

1 題材設定の理由

ある調査によると、「死」について初めて考えた年齢は、小学校の高学年が最も多いという結果であった。この時期の児童たちは、動物の死や植物が枯れるなどについては、生活の中で経験していることが多い。そこで、人間の「死」とともに命について考えることで、自分の命を大切にしたいと生きていく態度を育てるため、この題材を設定した。

2 指導の流れ

(1) 事前指導

- ①動物や植物を例に、「死」とは何かを考えさせる。
- ②命の大切さに関する道徳の授業<内容項目3-(1)生命尊重>を行う。

(2) 事後指導

- ①短学活(帰りの会など)で夢を叶えるためにがんばっている人を紹介し、生きることのすばらしさを感じ取らせる。
- ②相談できる友だちの大切さについて学級活動で話し合わせる

(3) 留意事項

現実的に「死」に直面した児童がいるような場合には、個々の状況を捉え、指導の進め方や言葉・資料などに配慮する必要がある。自他の「命」の大切さを意識させるような指導に変更することもできる。担任として、学級の実態に応じた指導を工夫する。

板書の例

「死」という言葉をどう受け止めますか？

◎グループのまとめ

マザー・テレサ

「死」とは

- ・命がなくなる
- ・何もできなくなる
- ・こわい
- ・動けなくなる

生まれる → 病死 → 事故死 → 11歳 → 溺死 → 餓死 → 死んだ動物の画像

死ぬ

老死

植物が枯れた画像

| | |
|-----|-----|
| 1 班 | 4 班 |
| 2 班 | 5 班 |
| 3 班 | 6 班 |

画像

画像

「人間にとって最も悲しむべきことは、自分が不必要だと思ってしまうことです」

||

自分の命を大切にしよう

展開の例

| 時間 | 学習内容 | 指導上の留意点 評 評価 |
|---------------------|---|---|
| 10分 | 1 何歳まで生きたいか、自分の考えを自由に発言する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生まれてからこれまでと、これからを図示し、いろいろな「死」について確認する。 ・動物の死骸の写真や事故死の新聞記事など、「死」を視覚的に確認させる資料を準備する。 |
| 10分 | 2 「事故死」や「病死」、「過労死」、「老死」、「溺死」などは自分の意志ではないことを確認し、本時の学習課題を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・衝撃的なものは避ける。 ・「事故死」や「病死」などの例を挙げ、「自殺」との違いを学習することを説明する。ただし、「自殺」という言葉の使い方は実態に応じて配慮する。 |
| 「死」という言葉をどう受け止めますか？ | | |
| 20分 | <p>3 「死」とはどのようなものか考え、話し合う。</p> <p>(1)「死」という言葉から感じる印象を考えまとめる。</p> <p>(2)どんなとき「死」を考えてしまうか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめられて苦しいとき。 ・ひとりぼっちになったとき。 ・悲しいことが続いたとき。 <p>(3)なぜ「命」を大切にするのかについて話し合う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自分の考えをワークシートにまとめる。 ②班で話し合い、班全体の意見をまとめる。 ③代表者が発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・命はとても大切だ。 ・死んだら何もできない。 ・やりたいことをいっぱいやりたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「死」という言葉からどのような印象を受けるか、写真を参考に考えるように指示する。 ・友だちからいじめられたときやひとりぼっちになったときなど「死のう」と考えてしまうようなことがあることについて考えさせる。 ・いじめの様子絵などを示し現実に行っていることを確認する。 ・「死」の重さを認識させた上で、自分から死を選ぶようなことを絶対させたくないなどの教師の思いを伝える。 ・一生懸命に生きている人の実例を出して「命の大切さ」や「自分から命を絶ってはいけない」という意識を高める。 (マザー・テレサの例)・・・画像を示す ・生活していく中では、いやなこともあるが、楽しいことがたくさんあることや友人との関係の大切さなどに気づかせたい。 |
| 10分 | <p>4 自分の命を大切にしていくなために、日頃からどんなことに気をつけていくか考える。</p> <p>(1)教師の話聞く。</p> <p>(2)学習を通して感じたことをワークシートにまとめる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・前向きに生きるために必要なことを、教師自らの経験を交えながら話したい。 <p>評 命を大切に生活しようとする気持ちをまとめている。(ワークシート・発表)</p> |

「死」という言葉をどう受け止めますか？

5年()組()番 名前()

1 「死」とはどんなことか、あなたの考えを書いてください。

| |
|--|
| |
|--|

2 「死」を考えるのはどのようなときだと思うか書いてください。

| |
|--|
| |
| |
| |

3 なぜ「命」を大切にするのか、考えたことをまとめてください。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |

4 学習をふりかえって、あなたが感じたことをまとめてください。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |

1. 「一生懸命に生きている人」の例

◎マザー・テレサの例 <画像や写真を示すとさらに分かりやすくなる>

1950年代のインドのコルカタ(当時はカルカッタ)の街で修道女をしていたマザー・テレサは、「すべてをささげて、スラムの貧しい人の中の、さらに貧しい人のために仕える。」と誓願して、死にそんな人たちの救済活動をした人です。彼女は、道ばたに倒れている死にそんな人にも愛情をもって接し、「あなたも私たちと同じように、望まれて生まれてきた大切な人なのです」という言葉をかけて最期を看取っていました。

そんなマザーは、世間に見捨てられ、身も心もボロボロになって路地などに倒れ伏している死の寸前の人を「死を待つ人の家」と名付けた場所に運び、体を洗い、髪を刈りそろえ、清潔な服を着せて、温かいスープを与え、せめて最後まで人間らしく生きてほしいと愛情を注ぎました。来る日も来る日も、献身的に貧しい人のために活動したマザーは、発展途上国でも先進国でも、経済的な貧しさだけではなく「心の飢え」をもっている人のために同じような施設を作りました。その数は、世界各国182か所に及んでいます。

マザーは次のような言葉を残しています。

「人間にとって最も悲しむべきことは、病気でも貧乏でもありません。自分はこの世に不必要な人間だと思いこむことです。そしてまた、現世の最大の悪は、そういう人に対する愛が足りないことです。望まれないで生まれてきた人は、一人もいません。」

◎小学生でも「ああ、あの人」と思えるような有名な方について話題にしたい。

テレビに出演している盲目のスイマーなど

2. 事前指導の資料の例

(1) 命の大切さに関する道徳の授業との関連づけを図る。

(2) 短学活を活かして、動物などの「死」に向かい合わせる。

①道ばたなどに死んでいる犬や猫の話をする。

②「彼らは死にたかったのか」と発問する。

③②の答えの大半は「ちがう」という答えと思われる。もし、違う答えが多かったときは、「どうして死んでしまったの」と発問する。

④「命があれば、どんなことができたかな」と発問し、生きていれば走り回ったりえさを食べたりすることができたことに気づかせる。

3. 事後指導の例

(1) 短学活を活かして、夢を叶えるためにがんばっている人の例を話す。

①新聞記事や写真を用いてスポーツ選手や職業人の話題を出す。

②とんでもない夢と思われぬように配慮しながら、夢を叶えるためにがんばろうという気持ちを高めたい。

(2) 学級活動で「相談できる友だちをつくろう」という活動をする。

①友だちがいてくれて「ありがたい」とか「うれしい」と感じた経験を思い出させる。

②友だちがいなくてどんなことが辛いのか、どんなときに困るのか考えさせる。

③「相談できる友だち」を作るためにはどうすればよいか話し合わせる。

④「相談されるような人間」になるために自分はどのようなことに気をつければよいか考えさせる。

✎ 小惑星探査機「はやぶさ」～2592日間の旅～

内容項目

1-(2) より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。

自殺予防との関連

この時期の児童は、まもなく中学生になる思春期の入り口にあり、心や体のバランスが不安定である。精神面では、高い理想を追い求めたり、夢や希望がふくらんだりするのだが、理想と現実の違いを感じ、自分に自信がもてない時期でもある。

そこで、この資料を通して様々な生き方への関心を高めるとともに、最後までくじけずに希望と勇気をもつことの大切さや、挫折感を克服する人間の強さについて考えられるような態度を育てていきたい。

板書の例

本時のねらい

困難なことに出会っても、希望と勇気をもって自分の目標に向かって進んでいく態度を育てる。

展開の例

| 時間 | 主な活動・発問と予想される反応 ○基本発問 ◎中心発問 | 教師の働きかけ 評 評価 |
|-----|---|---|
| 5分 | 1 小惑星探査機「はやぶさ」について知っていることを発表する。 ・映画になった。 ・小惑星のものを持って帰ってきた。 | ・「はやぶさ」の写真や7年間の軌跡をまとめた年表などを提示しながら、資料への関心を高める。 |
| 20分 | 2 資料「はやぶさ」を読んで「川口博士たち」の気持ちを想像して発表する。 ○川口博士たちは、どんなことを思いながらはやぶさに信号を送り続けたのでしょうか。 ・だめかもしれない。あきらめるしかないか。 ・ここであきらめたら終わりだ。必ずはやぶさは、見つかるかと信じている。 ○傷だらけのはやぶさのエンジンが再び動き始めた時、川口博士たちはどんなことを思ったでしょう。 ・奇跡だ。あきらめないでよかった。 ・チームの力は、素晴らしい。 ・これでははやぶさを地球に戻せる。 ◎はやぶさとの通信が完全に終了した時、川口博士たちは、どんなことを考えたでしょうか。 ・はやぶさ、ご苦労様。 ・不可能だと言われた計画だったが、最後までやり通せてよかった。 ・はやぶさ、ありがとう。 ・これからも日本の宇宙開発のために研究を続けていこう。 | ・資料は、状況が正確に伝わるように教師が範読する。 ・補助発問として、川口博士たちが、前人未踏の計画に挑戦した時の気持ちをじっくりと考えさせ、ねらいとする価値への方向づけをする。 ・人は不安や困難にぶつかった時、「頑張るってやり抜こう」という気持ちと同時に「くじけそうになる」気持ちが生じる。ここでは、自分の経験を想起させながら川口博士たちの気持ちを想像させ、共感させていく。 ・燃え尽きる前に「はやぶさ」が、スタッフルームに送信してきた写真を提示する。その写真を通して、7年間共に闘ってきた博士たちと「はやぶさ」との関係性を想像させ、中心発問へと結びつけていく。 |
| 15分 | 3 自分の生活を振り返り考える。 ○これからの中学校生活や、自分の夢に向かって進んでいる時に、何か困難なことに出会ったらどうしますか。 ・負けないで努力しつづけたい。 ・あきらめない。 | 評 困難なことに出会っても、自分の夢や目標に向かって挑戦し続けていこうという気持ちを持ち、表現している。（ワークシート・発表） |
| 5分 | 4 教師の説話を聞く。 | ・「はやぶさの軌跡の年表」を使って川口博士たちの次への挑戦について紹介をしながら、児童の視点が「未来」に向かうように終わりたい。 |

小惑星探査機「はやぶさ」～2592日間の旅～

この日、宇宙科学研究所（JAXA）には大勢の人が訪れ、今か今かと彼の帰りを待っていた。彼の名前は小惑星探査機「はやぶさ」。2592日間、60億キロの宇宙の旅を終え、地球に戻ろうとしている。

川口博士たちは、「小惑星の地表サンプルを採取して地球に持ち帰る」という計画を発表した。世界中の研究者たちは、あまりにも壮大な計画に驚きの声をあげた。その成功を予想する者はほとんどいなかった。

それから7年後、前人未踏の計画に向けて「はやぶさ」は、打ち上げられた。

2年後、「はやぶさ」は、小惑星「イトカワ」に到着しサンプル採取を行った。ところが予測不能なトラブルが、次々と起こり、失敗を繰り返した。博士たちは、最後のチャンスに挑戦した。採取できれば画面に「成功」の文字が出てくる。全員が画面を見守った。文字が出た。「成功だ。」博士たちの顔に笑顔があふれた。

ところが、その時「はやぶさ」に異常が起っていた。燃料もれである。そしてついに、いくら呼びかけても全く交信ができなくなってしまった。このままでは、永遠に宇宙をさまようことになってしまう……。だがこんな状態の探査機が地球に戻ってきた例はない。博士たちは、宇宙に向かって信号を送り続けた。毎日毎日、昼も夜も。気がつくスタッフルームには、人氣がなくなり、ポットのお湯がさめていることもしばしばだった。どんなに信号をおくっても「はやぶさ」は、答えてくれなかった。「もうだめなのか……」。

「はやぶさ」は、生きていた。博士たちは、とうとう「はやぶさ」からの信号をキャッチした。実に1か月半ぶりであった。博士たちは、すぐに「はやぶさ」に信号を送った。「チキュウニ キカン セヨ。」
「はやぶさ」は、傷だらけだった。補助エンジンもアンテナもそして燃料さえもぎりぎりだった。それでも彼は、地球を目指して動き始めた。少しずつ、少しずつ。

しかし、頼みの綱であった最後のエンジンにトラブルが起こった。地球を目前にして「はやぶさ」は、完全に止まってしまった。さすがの博士たちも、「もうこれまでか。」と思った。どんなに計算しても、もう打つ手がなく「あきらめるしかない。」という結論に達しようとしていた。その時、エンジンを作った技術者たちが言った。

「別の回路が、組み込んである。もしかしたら動かせるかもしれない。」
もう迷う時間はなかった。誰もが祈る気持ちで信号を送った。「キカン セヨ。」 「はやぶさ」が再び動き始めた。「ワーッ。」と大きな歓声があがった。

そして今、「はやぶさ」は、任務を終えて、帰ってきた。地表サンプルを収めたカプセルを切り離れた後、大気圏に突入し、彼は燃え尽きる。

博士たちは、最後の信号を送った。「チキュウノ シャシンヲ ソウシン セヨ。」博士たちは、共に挑戦し続けてきた「はやぶさ」にふるさとの地球を見せたかったのだ。彼が生まれたこの美しい地球（ふるさと）の姿を……。

午後10時28分30秒、通信が完全に途絶えた。博士をはじめ多くの人々と、「はやぶさ」の2592日間の旅は、こうして終わった。

はやぶさ7年間(2592日)の歩み

| | |
|--------------|---|
| 2003年 5月09日 | ・午後1時29分宇宙観測所(鹿児島県)より打ち上げ |
| 2005年 9月12日 | ・小惑星イトカワに到着。降下練習開始。 |
| 11月20日 | ・1回目の採取。イトカワの表面の物質採取には失敗。 |
| 11月26日 | ・2回目の物質採取に挑戦。 |
| 12月08日 | ・燃料もれが発見。地球との交信が不通。 |
| 2006年 1月23日 | ・交信が復活。プログラムの再送可能。 |
| 2007年 10月18日 | ・地球に戻るための最初の軌道変更に成功。 |
| 2009年 11月04日 | ・唯一動いていたイオンエンジン停止。 |
| 11月19日 | ・最後の切り札の回路を使い、再稼働。 |
| 2010年 3月27日 | ・最後の軌道変更を完了。 |
| 6月13日 | ・午後7時51分、カプセルと分離。 ・午後8時、地球を撮影後、大気圏突入。 ・午後10時28分30秒通信完了。 |

☆2010年11月に、はやぶさが持ち帰ったカプセルの中にイトカワの物質が確認された。
☆2014年「はやぶさ2」の打ち上げを予定している。帰還は2020年である

「小惑星探査機 はやぶさ ～2592日間の旅～」

6年()組()番 名前()

- はやぶさとの通信が完全に終了した時、川口博士たちは、どんなことを考えたでしょうか。

Handwriting practice area for the first question, featuring a decorative border and horizontal dashed lines.

- ☆ これからあなたは、中学での生活や自分の夢に向かって進んでいる時に、何か困難なことにぶつかったらどうしますか。

Handwriting practice area for the second question, featuring a decorative border and horizontal dashed lines.

不安や悩みへの対処

指導にあたって

1 題材設定の理由

不安や悩みは誰もが経験することであるが、さまざまな対処方法を用いてそれを乗り越えることができる。さらに、自分のサポーター（信頼できる相談相手）から受ける支えは不安や悩みなどのストレスを軽減することが知られている。このことから自分のサポーターを再確認し、苦しいときはサポーターに相談することを適切な対処法の一つとして選択できるようにこの題材を設定した。

2 指導の流れ

(1) 事前指導

①事前アンケート「不安や悩みの対処」及び家庭学習を行う。（p59資料参照）

(2) 事後指導

②「人からの支え」については、自分が周りの人から支えられているだけでなく、自分もまた、友達や家族などの支えになっていることにも迫りたい。授業後、「自分は悩んでいる友達に何をしてあげられるか」について考える時間をもちたい。

③身近な人からの支えで、悩んでいたことが解消または軽減した話を、教師の体験や文献から紹介する。

3 参考文献

「ストレスマネジメント・テキスト」（ストレスマネジメント教育実践研究会編）（東山書房）

板書の例

不安や悩みがあるときにはどんな対処方法があるでしょうか。

(アンケートの結果)

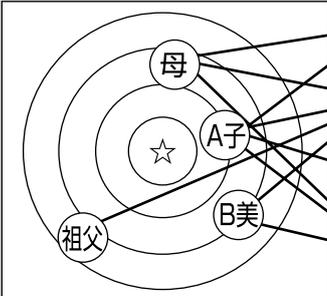
対処方法

- ・ 音楽をきく
- ・ スポーツをする
- ・ 買い物をする
- ・ 好きなものを食べる
- ・ だれかに相談する など

◎人からの支え

- ・ はげましてくれる
- ・ 新しい考え方に気付かせてくれる
- ・ 不安や悩みをきいてくれる
- ・ だれかに相談する

心が休まったり、不安や悩みが軽くなったりする。



- 病気やけがのとき心配してくれる
- おちこんでいるときはげましてくれる
- 不安や悩みをきいてくれる
- がんばっているときおうえんしてくれる

※右下のソーシャルサポート・ネットワークスケールは、ワークシートを拡大コピーしたものを貼り、作業の仕方を説明する。

展開の例

| 時間 | 学 習 内 容 | 指導上の留意点 評 価 |
|-----|--|---|
| 10分 | 1 本時の学習課題を確認する。 アンケートの結果を見て、不安や悩みについて考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を提示し、友達がいろいろな悩みをもっていることに気づかせる。 |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 不安や悩みがあるときにはどんな対処方法があるでしょうか。 </div> | |
| 20分 | 2 不安や悩みの対処方法を考える。 (一人でできる) <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を聴く。 ・運動をする。 ・入浴する。 ・寝る など (人との関わりを通して) <ul style="list-style-type: none"> ・人に相談する。 ・友達と楽しい話をする。 など 3 人(サポーター)からの支えの大切さについて理解する。 (1)人からの支えのストレス緩和効果について話を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・励ましてくれたり、新しい考え方に気付かせてくれたりする。 ・不安や悩みを聴いてくれる。 ・一緒に運動したりして、気分転換に協力してくれる。 <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 心が休まったり、不安や悩みが軽くなったりする。 </div> (2)自分のサポーターを確認して、ワークシートに記入する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・第5学年保健学習「心の健康」の既習事項を思い出しながら考えさせる。 ・考えた方法を自由に出させることで、様々な対処方法があることに気づかせる。 ・一人で行う対処方法ばかりが出た場合は、人との関わりを通して不安や悩みを軽減できる方法を意図的に話題にする。 ・人(サポーター)からの支えの大切さについて、教師の体験など具体例を出しながら説明する。 ・家庭学習を参考にしてサポーターを記入する。 ・机間指導しながら、書き込んだ人の数ではなく、自分を支えてくれるサポーターの存在に改めて気づくことが大切で、精神的に安心することを説明する。 ・自分もまた誰かの「サポーター」になりうることに気づかせる。 |
| 15分 | 4 学習のまとめをする。 (1)教師の話を聞く。 (2)ワークシートを記入して、授業で感じたことをまとめる。 (3)代表の人が感じたことを発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分はたくさんの人からの支えを受けて生きていること、不安や悩みで苦しくなったときには、自分のサポーターに相談することも大切な対処法であることを強調する。 <p>評 不安や悩みを相談できる、サポーターの存在に気づくことができる。(ワークシート)</p> |

ワークシートの例

ソーシャルサポート・ネットワーク・スケール (自分の周りの相談者を確認する)

全員集合！私のサポーター

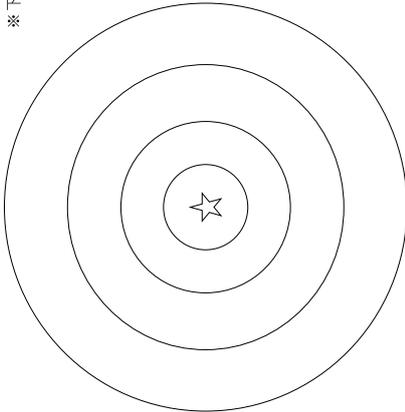
6年組 名前

下の円は、みなさんがふだん生活している世界と想像してください。
 円の中心の☆は自分自身です。自分のまわりにいる、自分を支えてくれる人
 (サポーター) について考えてみましょう。○で書いてみましょう。円の中心に
 この円の中に自分を支えてくれる人を○で書いてみましょう。円の中心に
 近い人がより親しい人になります。家庭学習を参考にしましょう。ただし、
 今新たに感じたい場合はその人を書いてかまいません。

次に、あなたが○で書き入れた人は、具体的にあなたにとってどんな人では
 しょうか？右の四角の中の文章から選んで●と○を線でむすんでみましょう。

※下のようなのことをしてくれるのはどれ？

- 病气やけがのときに心配してくれる。
- 落ちこんだときにはげましてくる。
- 不安やなやみをきいてくれる。
- がんばっているとき、おうえんしてくれる。



※今日の授業で感じたこと、考えたことを書きましょう。

事前アンケート・家庭学習用シートの例

事前アンケート 「不安や悩みへの対処」

あなたは、今どんな不安なことや悩みがありますか？
 書ける範囲で構いません。どんなことが書いてください。

(下の線で切り取ってこの部分だけ提出)

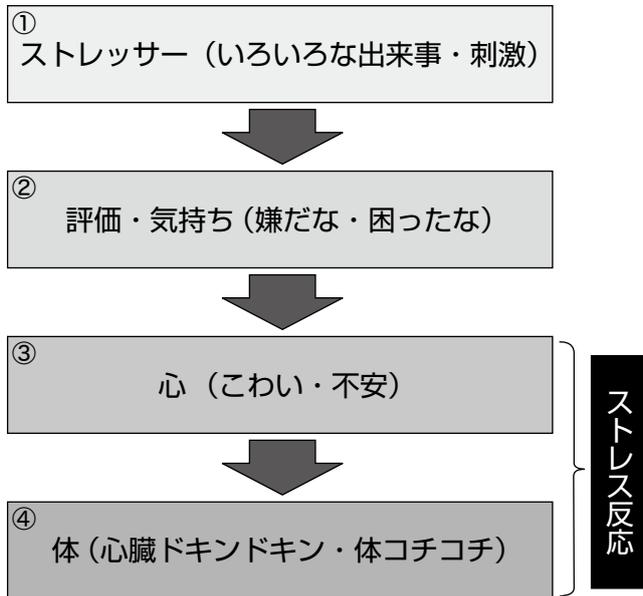
ホームワーク 「不安や悩みへの対処」

◎ あなたがふだん困っているときに助けてくれる人、困ったときに助けてくれる人、困ったときに助けてくれる人を思い出して、下に書き出してみましょう。何人でもいいです。たくさん書ける人はたくさん書いてください。

例) お母さん、○○先生、○○さん など

不安や悩み（よくないストレス）に対する、ストレスマネジメントの考え方

1 ストレス発生の仕組み



ストレスマネジメントは、それぞれの段階に対して解決行動（コーピング）を行うことで、よくないストレス反応を抑えたり弱めたりすることを行います。

※ストレッサーそのものは、ただの刺激であり、そこに「嫌だな、困ったな」というよくない評価をすることによって、ストレッサーになります。ここで「なんともない」というニュートラルな評価をすれば、ストレッサーにはなりません。

※ストレッサーに対してのよくない評価がされることで、心の反応（心理的興奮）が起こります。ストレッサーに対する怒りや不安、恐怖、焦りなどは「心理的ストレス反応」と呼ばれます。

※心理的興奮は次に身体的興奮（身体的ストレス反応）を招きます。心臓がドキドキする、体が緊張で硬くなる、冷や汗が出るなど自律神経系の興奮によって生じるこの反応は、長時間持続すると体の不調を起こします。

2 「ソーシャルサポートは万能薬」

※ソーシャルサポート（人からの支援）はストレス発生段階のどの部分にも介入できるコーピングです。

① ストレッサーに対して

相談相手が、避けたり弱めたりできる方法を教えてくれれば、ストレッサーの威力は減る。仲間がいると、一緒に我慢したり、励ましたりして楽になる。

② 評価に対して

人に相談することで、違った見方や教えが得られ、冷静な判断ができる。また、それまで苦手だったことも自信をもって対処できるようになり、評価自体がそれまでと変わってくる。

③ 心の反応に対して

相談相手からなだめられたり、悩みや不安、イライラなどを打ち明けたりすることで、気分が楽になったり、落ち着いたりする。

④ 体の反応に対して

好きな運動をしてリフレッシュするとき、一人でするよりも親しい人と一緒だとより楽しくできる。

コラム③

「いのちの教育」と自殺予防

学校において自殺予防教育を実施することについては、多くの教師がその必要性を認めながらも、「実行に移すととなると難しい」と感じているのが実情のようです。自殺予防ということ进行全面に出すと、「寝た子を起こすようで心配」「大人になってからでもいいのでは」「私にはとても無理」などと、教師の心理的抵抗を引き起こしてしまうことも少なくありません。未だタブー視されがちな自殺予防教育を、危機意識を持った一部の教師が個人的に取り組む活動から学校全体の教育活動へと位置づけていくためには、教師の間で自殺の問題に対する理解と連携の芽を育てることが必要なのではないのでしょうか。そのためには、リストカットをしたり「死にたい」と訴えたりする子どもの問題を事例検討会で取り上げて共通理解を図ることや、小学校から系統だった「いのちの教育」や「死の教育」の実践を積み上げていくことが大切だと思われま

す。教育活動全般を見通した日常的な取組なしに、いきなり自殺予防だけに焦点を当てたプログラムを実施したとしても、戸惑いや反発が予想され、子どもの自殺を防ぐうえでの大きな効果は期待できないのではないのでしょうか。教科学習（特に保健体育や社会科など）と道徳・総合的な学習の時間・特別活動との関連を図りながら、生命の大切さや人生のかけがえのなさを実感する「いのちの教育」を進め、その土台のうえに自殺予防プログラムを実施することが求められます。



「教師が知っておきたい 子どもの自殺予防教育」より（平成21年3月）文部科学省

中学校

自然物からの構成



岩間中学校 2年 渡引 杏菜

私はワタシ

内容項目

1-(5) 自己の特性を理解し、個性を伸ばしよりよい自己を形成する。

自殺予防との関連

この時期の生徒は、周囲の目や他者からの評価を気にしてしまい、自分の個性や特性を抑えて他に迎合したり、自己をよりよく生かしていくことができなくなったりする傾向がある。また、人間関係が壊れると、相手の性格や個性を否定したり、自分自身を否定して自己嫌悪に陥ったりすることもある。

本資料では、自分の性格や行為に対して不安や不信を抱いていた主人公が、友達からの予想外の言葉に励まされ、自信をもつようになる姿に共感することを通して、自分の個性を大切にし、よりよい自己を生かしていこうとする心情を育てたい。

板書の例

挿絵① 掃除の時間に、友達からいやな目つきで見られているときの私の様子

挿絵② 笑顔で応える私の様子

本時のねらい

自己の特性を理解し、よりよい自己を形成しようとする心情を育てる。

展開の例

| 時間 | 主な活動・発問と予想される反応 ○基本発問 ◎中心発問 | 教師の働きかけ 評 評価 |
|-----|--|--|
| 5分 | 1 「個性」について話し合う。 ・自分はみんなと違うな、と感ずることがある。 ・個性的な自分を誇らしく思える。 ・劣等感を感ずることがある。 | ・どんな人間も、他者とは異なる自分の個性をもっていることに触れ、価値への方向づけをする。 |
| 30分 | 2 資料「私はワタシ」を読んで話し合う。 ○「まじめちゃんの言うことはちがうよな。」と言われたとき、私はどんな気持ちだったろう。 ・何と思われてもかまわない。 ・自分だけのけ者扱いされていやだ。 ・言わなければよかった。 ・まじめな私は、みんなとうまく付き合えない。 ・私は、どうしたらいいのだろう。 ◎家で家族の言葉を聞いた私は、どんなことを考えただろう。 ・姉の言う通り、これからはみんなに合わせようか。 ・姉の言う通りにすると、自分自身がなくなってしまうのでは…。 ・父の言うように、やはり自分は自分でいい。 ・自分のまじめな性格を表に出すと、これからはみんなから理解されないのでは…。 ○「いいのよ、そんなこと」と言ったとき、私はどんな気持ちだったろうか。 ・自分が認められてうれしい。 ・自分に自信が持てた。 ・私は、ワタシでいいんだ。 | ・場面の様子を挿絵で示すことで、登場人物の心情に迫りやすくしたい。 ・意見が出ないときは、状況を丁寧に確認することで、戸惑いを感じる主人公の心情に迫れるようにする。 ・家族の言葉に対して、どうしたらいいのか思い悩んでいる主人公の心情に迫れるよう、補助発問を工夫する。例えば「姉(父)の言う通りにすると、どんなところが満足できるのだろうか。また、どんな不満が残るのだろうか。」などと問いたい。 ・まじめな主人公の言動に対してこれまで否定的であった周囲が、主人公を認めたことで、主人公自身が自己肯定感を高め、清々しい気分になっている心情に迫れるよう、補助発問を工夫する。例えば、「班長から『ごめん』と言われたときの気持ちを考えてみよう。」などと問いたい。 |
| 10分 | 3 生活を振り返る。 「自分らしさ」について考える。 | 評 自己の特性を理解して、よりよい自己を形成しようとする気持ちを持ち、表現している。 (発表・ワークシート) |
| 5分 | 4 教師の説話を聞く。 | ・個性を生かして活躍している人物について話したい。 |

「私はワタシ」

私は、友達付き合いが苦手。自分でもよく分かっているけれど、まじめすぎるのだ。以前にこんなことがあった。

部活の帰り道に、みんなは自動販売機でジュースを買うことになった。私は「学校の規則だから……」と言って断った。みんなからは「まじめちゃんだもんね。」と言われた。

この前の掃除^{そうじ}の時間にも、私がいつものように机を運ぼうとすると、班長の鈴木君が「今日は先生が出張でいないから、机は運ばなくていいよ。きっと、ばれないよ。」と言った。みんなも「そうしよう。」と言った。でも、私は反対し、冷たい視線を浴びたのだ。鈴木君は、「やっぱりまじめちゃんの言うことはちがうよな。後で先生にちくられるとやばいからさ、みんな、やっぱり運ぼうぜ。」と言い、みんなしぶしぶ机を運んだ。私はみんなににらまれた。正しいことを言っているはずなのに、どうしてこうなってしまおうのだろう？いつものいやな空気になった。私はその場に居づらくなり、足早^{あしはや}に教室を出た。私は、自分でも自分の性格をよく分かっていたが、まじめすぎて友達とうまくいかない自分が、だんだん嫌いになっていた。

帰ってから、このことを家族に話すと、姉から「あんたは、上に何とかがついちゃうくらいまじめだからね。少しは、みんなに合わせたほうがいいよ。友達いなくなっちゃうよ。」と言われた。母は、「それがあなたのいいところなのよ。」と笑顔で言った。新聞を読んでいた父は顔をあげて、「自分が信じる生き方をしなさい。」と、きっぱり言った。

翌日の放課後、私は鈴木君に、思いもよらない言葉をかけられた。

「昨日は、ごめん。今朝、先生に呼ばれてさ。いつも教室掃除をよくやってくれているって褒められたんだ。先生がいない日も教室がきれいなのは、班長がしっかりしているからだつてさ。でも、おれ……」

私は、鈴木君が言い終わらないうちに、「いいのよ、そんなこと。これからもよろしくね。」とだけ言い、その場を後にしながら、昨日^{きのう}の母の言葉を思い出していた。

「私はワタシ」

1年()組()番 名前()

- 家族の言葉を聞いて、私はどんなことを考えただろう。



- ☆ 「自分らしさ」について考えたことを書いてみよう。



新しいクラスメートはどんな人？

指導にあたって

1 題材設定の理由

中学校へ入学すると生活状況が大きく変わる。複数の小学校から集まり新たな集団生活が始まる。また、小学校から同じ集団の継続の場合でも、一人一人の気持ちが大きく変わり、新たな集団が作られる。そのような期待や不安の多い時期に合わせ、自分自身を見つめる機会を設定し、お互いに自己開示する活動を構成的グループエンカウンターの手法を用いて行う。一人一人の思いやよさを確認し、認め合うことで、好ましい友人関係を構築し、よりよい学級集団を育成していくためにこの題材を設定した。

2 指導の流れ

(1) 事前指導

- ①ワークシート1のヒント項目に自分の考えを記入させて回収しておく。
- ②友だちと協力したことや助け合ったことなどの事例を話題にしておく。

(2) 事後指導

- ①委員会活動や係活動の決定や、校外学習や各種行事のグループ編成の場面で一人一人のよさを生かすことを話題にする。
- ②キャリア教育適性検査などを活用し、一人一人の個性の違いについて話題にする。
- ③学校行事等の機会を利用して、友だちのよいところを発見し、伝え合うエクササイズを行うとさらに効果がある。

(3) 留意事項

ゲーム化することで、集団での活発な活動や意欲化を図ることができる。担任の思いや学級の実態に応じて学習の進め方を工夫することができる。

3 参考文献

「エンカウンターで学級づくり12か月」(吉澤克彦・野澤一吉編)(明治図書)

板書の例

新しいクラスメートはどんな人？

個性の集まり

だまし絵

- ・見方によって変わる。
- ・一人一人違う

＝エクササイズの進め方＝

- ①ヒント項目に自分の書いたものが読まれたらその場に立つ。
- ②次からのヒント項目で、該当しないときには座る。
- ③数人に絞られたら、読まれた項目に該当する人を予測する。

※ひやかさない。相手を大切にす。

みんなが楽しい学級

- ・友だちの知らない一面を知った。
- ・一人一人考え方が違う
- ・協力や助け合うことは大切だ。
- ・何でも話し合える学級にしたい。

展開の例

| 時間 | 学 習 内 容 | 指導上の留意点 [評] 評価 |
|-----|--|--|
| 10分 | 1 本時の学習課題を確認する。 | ・クラスメートについて新たな発見をし、さらにまとまりのあるクラスを目指して本時のエクササイズを行うことを説明する。 |
| | 新しいクラスメートはどんな人？ | |
| 15分 | 2 絵を見て話し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・見方によって見え方の違う絵（だまし絵）を見て、何に見えるか自由に話し合う。教師がリードして話し合いの雰囲気を高める。 ・物の見方や考え方は一人一人違いがあり、集団生活の中では、その違いをお互いに認め合うことが大切であることを確認する。 |
| | 3 「新しいクラスメートはどんな人？」のエクササイズを行う。 =進め方= （お互いに顔が見えるように、コの字型に机を並べる。） （1）教師が読み上げるヒント項目を聞いて、該当者が立ち上がる。 （2）その他のヒント項目を聞き、該当者だけが立ったまま残り、その他は座るようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教師がヒント項目を読み上げ、進め方の確認や拍手をするなど、雰囲気を盛り上げながら和やかに進行できるようにする。多くの人数が共通する内容のヒントを選んで読み上げるようにする。 ・人数が絞られてきたら、ヒントを書いた人物が誰か考えさせる。人物がわかったら本人から自己紹介を兼ねて、ワークシート1の7～10を発表させる。 ・人数の少ない学級や担任の学級経営によって、記入者をあてるようなゲームに変更することもできる。 |
| 5分 | 4 一人一人を大切にできる心情が育てられるような教師の説話をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の考え方や思いは違うことを確認し、その違いを認め合うことの大切さを伝える。 |
| 20分 | 5 本時の授業の感想を記入し、話し合う。 ・友だちの知らなかった一面を知った。 ・友達と同じような考えや違った考えがあっておもしろかった。 ・友だちと協力することが大切だ。楽しい学級にしていこうと思った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・お互いに認め合うことや協力することを今後の学級の活動に生かして行くことを伝え、誰もが居場所のある学級づくりをしていこうとする意欲づけをする。 |

ワークシート1

○各項目の内容については、学級の実態や学級担任の思いなどに応じて変更することができる。

新しいクラスメートはどんな人？ヒントカード

=ヒント項目= 1つに決められない人は、たくさん記入してもかまいません。

- 1 わたしの好きな教科は()です。
- 2 わたしの好きな部活は()です。
※入部予定も含む
- 3 わたしの好きな食べ物は()です。
- 4 わたしの好きな芸能人・アニメは()です。
- 5 わたしは、時間があったら()
したいです。
- 6 もし1億円の宝くじが当たったら
()します。

-
- 7 わたしの名前は()です。
 - 8 わたしの出身は()小学校です。
 - 9 好きな言葉は()です。
 - 10 今年の目標は()です。

ワークシート2

名前

★今日の授業で感じたことや友だちの意外だった一面を書いてみよう。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |
| |

心のノート中学校「いろいろな立場があり考えがある」P60～64

この絵は何に見えますか？



どんなふうに見えるかな？
友達にも聞いてみましょう。

認め合い
学び合う心を

何に見える？

それだけかな？

ひとつのものについても、見る角度によって見え方が違いますね。世の中のできごとと同じです。こんなことがたくさんあります。自分の見方や考え方がすべてではありません。どのようにしたら相手の立場や考え方を尊重しつつ自分らしく振る舞うことができるかを考えてみましょう。

いろいろな立場があり考えがある

人それぞれに異なるものの見方や考え方が



Free Space あなたと異なるものの見方や考え方に会ったことはないですか？

■立場とは、文字どおり「立っている場所」。同じ一人の人間でも、与えられている役割やそのとき置かれている状況によって物事は違って見えてくるものです。
■ましてや他の人ならなおさらです。あなたがいま立っている、その同じ場所に他の人が立ったとしても、ものの見方や考え方はあなたと同じであるとは限りません。

60
61

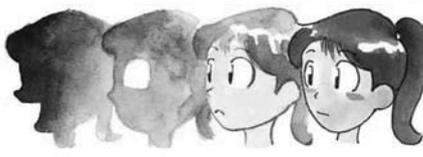
他の人

の立場や考えを理解していない自分



あなたには
自分のことを他の人にわかってもらえずに
傷ついた経験はありますか？
他の人に理解されないときってどんな気持ちだったでしょう？
相手が理解しなかったのはなぜでしょう？
反対に、自分が相手の考えを理解していなかったと
気づいたことはないでしょうか？

に気づいた経験はありますか？



人にはそれぞれの事情があり、考え方もさまざまです。相手の立場を考えながら、人間関係をつくっていくのは大変だと思うときもありますね。でも、相手の立場を考えた言動にホッと心があたたまったり優しい気持ちになったりすることがあります。

いろいろな人のものの見方や考え方から学ぶことで自分がより大きくなる

人には、いろいろな立場や考えがあることが理解できると私たちはそこから多くのことを学ぶことができます。自分では気づけなかった周囲の人のものの見方や考え方に触れることは自分の心の成長にも大きく役立つはずです。



人の言動にハッと気づいたり、なるほどと思ったり、これを生かそうと考えたりしたことがありますか。

年月日

年月日

年月日

62
63

見方によって見え方の違う絵(だまし絵)は多くの種類がある。学級の実態に応じ工夫して使用する。

✎ 生きている・・・ということ

内容項目

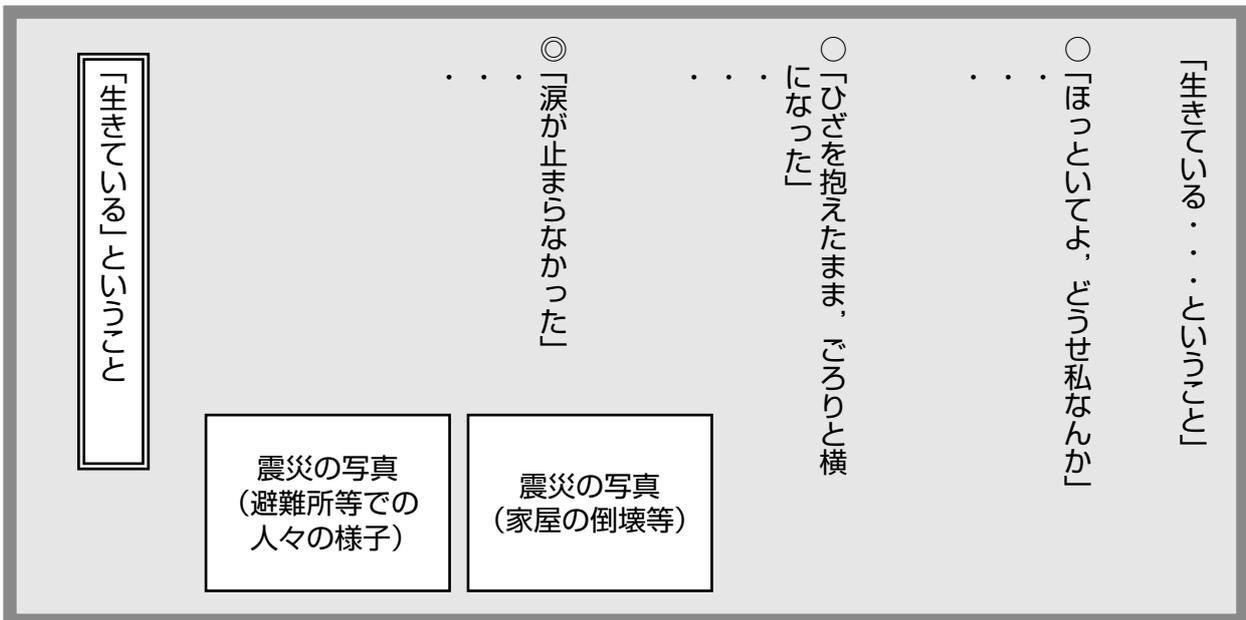
3- (1) 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。

自殺予防との関連

この時期は、多くの生活場面で自己を発揮し、中心となって活躍できるようになる。しかし、一方ではさまざまなことが要因となって将来に希望がもてず、自分に自信をなくして悲観的になったり、自己の存在そのものを否定的に捉え、自暴自棄になったりする場合もある。

そこで本資料では、東日本大震災で助かった命をテーマに取り上げ、自分や家族が「生きている」ということを実感し喜びを感じる主人公の心情を追いながら、自他の生命を尊重する態度や心情を育てたい。

板書の例



本時のねらい

生命の大切さについて考え、自他の生命を尊重する態度や心情を育てる。

展開の例

| 時間 | 主な活動・発問と予想される反応 ○基本発問 ◎中心発問 | 教師の働きかけ 評 評価 |
|-----|---|--|
| 5分 | <p>1 「今、自分は生きている」ということについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実感がない。 ・大怪我をしたとき、生きていてよかったと思った。 ・いつまで生きていられるのか不安に思うことがある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「生きている」ことについて、話し合う。 ・生きていることを実感した経験や、死への不安など、関連することを含めて自由に話し合うことで価値への方向づけをする。 |
| 30分 | <p>2 資料「生きている・・・ということ」を読んで話し合う。</p> <p>○私は、どんな気持ちで「ほっといてよ。どうせ私なんか。」と言ったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう、何もかもいやだ。 ・学校に行きたくない。 ・だれとも話したくない。 ・死んでしまいたい。 ・もとに戻らないかな。 <p>○ひざを抱えたまま、ごろりと横になったとき、私はどんなことを考えただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疲れた、苦しい、寒い、痛い。 ・家族や友達は無事だろうか。 ・これからどうなるのだろうか。 ・みんな、無事に生きていてほしい。 <p>◎涙が止まらなかった私は、どんな気持ちだったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空腹や痛みを感じる事ができてうれしい。 ・生きていて、よかった。 ・小さなことに、くよくよするのはよそう。 ・自分の生命、みんなの生命を大切にしよう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料の状況がよく伝わるよう、教師が範読する。 ・些細なことから友達と対立し、なげやりになっている主人公の心情に共感できるよう、補助発問を工夫する。例えば「どうせ私なんか…」の後に続く言葉を想像してみよう」などと問う。 ・体力の低下や健康状態の悪化から、疲労や頭痛腹痛など肉体的な苦痛があることも認め、取り上げる。 ・非常事態における不安や恐怖、家族や友人知人を心配する主人公の心情に迫れるよう、状況を確認する。 ・涙の意味を考えることで、自分が生きていることを素直に喜び、生命の尊さを実感している主人公の気持ちに共感できるようにしたい。 ・資料冒頭での主人公の心情と対比させることで、生きていることの大切さや尊さに気づくことができるよう補助発問を工夫する。 |
| 10分 | <p>3 生活を振り返る。</p> <p>「生きている」ということについて思ったことや考えたことについて書く。</p> | <p>評 生命の大切さについて考え、自他の生命を尊重する考えや気持ちをもち、表現している。 (発表・ワークシート)</p> |
| 5分 | <p>4 教師の説話を聞く。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・かけがえのない生命について教師の思いや体験を話す。 |

生きている・・・ということ

私はその頃、いつも「死にたい、死にたい・・・。」と考えていました。ちょっとしたことが原因で友達と対立し、よくないうわさが流れました。それがあつという間に広がり、気がつくと私は完全に孤立してしまっただけです。それまではクラスでも部活でもリーダーとして振舞っていましたので、これはこたえました。体調も悪くなりました。家族は「大丈夫よ、何とかなるわよ。」とか「少し、休んだらどうだ。」とか声をかけてくれましたが、「ほっといてよ。」「どうせ私なんか。」私の口からはそんな言葉しか出ませんでした。

あの日もみんなが部活動に向かう中、私は一人で下校しました。学校の坂を下りてしばらく行ったところで、私はあの地震にあったのです。ゴーッという気味の悪い地鳴りに続いて大地が揺れました。思わず座り込んでしまうほどの地震・・・。家々の屋根からかわらが雨のように落ちてきました。道路わきのコンクリート塀がゆらゆらと波打ち、崩れていくのを見ました。まるで映画のような光景でした。揺れがおさまり、ふとわれに返った私は家に向かって走り出していました。角を曲がったところにある家は大きく傾き、煙が漂っています。「お母さん!」「おばあちゃん!」無我夢中で、割れたガラス窓から中に向かって呼び続けました。返事はありません。その時誰かが「津波だーっ、逃げろーっ!」と叫びました。その声には私は弾かれたように立ち上がり、学校めがけて走りました。走り続けました。何か重いものがぶつかり合うような衝撃、ガラスが割れる音、誰かの叫び声、動くはずのない電柱や屋根が迫ってきます。「ああ、もうだめだ。間に合わない。」そう思った瞬間、私の体はすごい力で水の中に引っ張られました。上も下もわからない状態で私は必死にもがきました。「死にたくないっ!死ぬのはいやだっ!!」

どれくらいたったのでしょうか。気がつくと私は知らない場所にいました。暗くて寒い場所でした。暗闇に目が慣れると周りにたくさんの方がいるのに気づきました。知らない人ばかりです。「気がついた?」隣にいた女の方が声をかけてくれました。私は濁流に流されていく途中で消防団の人に腕をつかまれ土手に引き上げられたそうです。大人たちの押し殺したような声が聞こえてきました。「誰々さんが流された。」「誰々さんは家の下敷きになった。」なぜ・・・?家族は・・・?友達は・・・?私はひざを抱えたまま、ごろりと横になりました。余震が続く暗闇は、恐怖と絶望と疲労に満ちていましたが、私はいつの間にか眠っていました。

翌朝、私は寒さと空腹で目を覚まし、ふらふらと外に出ました。体中に鈍い痛みを感じ、ふと見るとふくらはぎにはべっとり血と泥がこびりついています。制服もぐしゃぐしゃで靴も履いていません。目の前には昨日とはまったく別の無残な景色が広がっていました。寄りかかった木の枝に雪が積もっていましたが、枝先には新しい芽がふくらんでいました。「生きているんだ、この木は・・・。」「生きている、生きている・・・。私も・・・生きている・・・。」どんよりと曇った空の隙間から太陽が顔を出しました。私は涙が止まりませんでした。

この東日本大震災では多くの尊い命が失われました。幸い私の家族は全員無事でしたが、家も町もみんななくなっていました。でも朝が必ず来るように私たちの町は必ず復興します。これからも困難や苦労は山のようにあるでしょうが、きっと何とかなるはずです。私は今、亡くなったたくさんの方たちの分まで精一杯生きていこうと思っています。

生きている・・・ということ

2年()組()番 名前()

○ 涙が止まらなかった・・・私の思いとは？

Handwriting practice area with a decorative border and horizontal dashed lines.

☆ 「生きている」ということについて思ったことや考えたことを書こう。

Handwriting practice area with a decorative border and horizontal dashed lines.

「いじめ」気づいたらどうする！！

指導にあたって

1 題材設定の理由

この時期は体が急成長することで、心身がアンバランスになり、中学校時代の中で最も不安定な時期である。加えて、学習のつまずきや部活動の悩み・人間関係のトラブルによるストレスで、うまく集団の中で生活できない生徒も出てくる。この不安定な中に、いじめの起こる土壌がしやすい。

中学生になると携帯電話の所持率やインターネットの使用率が高くなる。「直接的ないじめ」だけでなく誹謗中傷を書き込む「ネットいじめ」も起こりやすい。自分たちのまわりでも起こる可能性があることを考え、適切な対処の仕方を身につけることが必要と考え、この題材を設定した。

2 指導の流れ

(1) 事前指導

①生活状況調査、いじめに関する調査、学級集団への所属感に関する調査などを実施し学級の現状を把握しておく。

(2) 事後指導

①ワークシート「いじめに気づいたらどうする」に記入したことを意識させ、具体的な事例をとりあげる。

3 参考文献

(1) 「生徒指導部研究収録 第41集 明日を拓く生徒指導」

(岡崎少年愛護センター・岡崎市現職研修委員会生徒指導部編)

(2) DVD「ちょっと待って、ケータイ2④卑劣なネットいじめはNO!」

(財団法人日本視聴覚教育協会)

板書の例

「いじめ」気付いたらどうしたらよいか考えよう

いじめをうけている少女はどんな気持ちだろう。

- ・ 誰にも相談ができなくてつらい。
- ・ 学校に行きたくない。
- ・ 死んでしまいたい。

いじめを見たらどうすべきか。

- ・ いじめられている子に声をかけ助ける。
- ・ いじめている子をとめる。
- ・ 担任の先生に知らせる。
- ・ 友だちや親に相談する。

見て見ぬふりをする人が多いのはなぜだろう。

- ・ どうしたらよいかわからない。
- ・ 助けると自分もいじめられる。
- ・ いじめられる側にも問題がある。
- ・ 自分に関係ない。

| グループ | A | B | C | D |
|------|----|----|----|----|
| 中学生女 | 81 | 82 | 60 | 81 |
| 中学生男 | 15 | 20 | 12 | 40 |
| 小学生女 | 12 | 50 | 20 | 14 |
| 小学生男 | 16 | 43 | 20 | 16 |

展開の例

| 時間 | 学 習 内 容 | 指導上の留意点 評 価 |
|------------------|--|--|
| 5分 | 1 「直接的ないじめ」「ネットいじめ」について話し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・直接的ないじめと相手がわからずにネット上に悪口などの情報が流されるいじめについて、自分の身近なところで起こる可能性があることについて確認する。 ・いじめがエスカレートして自殺した中学生の例を示してもよい。(参考資料1) |
| 10分 | 2 DVD「卑劣なネットいじめはNO!」を見る。 | |
| | 3 本時の学習課題を確認する。 | |
| 「いじめ」気づいたらどうする!! | | |
| 15分 | 4 DVD「卑劣なネットいじめはNO!」について話し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・いじめを受けている子の心情を考えるとともに、友人や先生・家の人などに相談することが大切であることについて確認する。 ・中学生の3人に1人が「見て見ぬふりをしている」ことを確認する。(参考資料2) ・ネットいじめは、相手が特定されず「次は自分もやられてしまう。」という考えになりやすいことに気づかせる。 ・いじめに気づいていながら見て見ぬふりをしてしまうことについて、資料を提示しながら話し合う。(参考資料3) ・ネットいじめの特異性からエスカレートしていくことや犯罪につながりやすいことに気づかせる。 ・見て見ぬふりをするということは消極的ないじめであることを強調する。 ・いじめを見たときに、見て見ぬふりをせず、自分にできることは何かを考え具体的な行動を起こすことが大切であることを助言する。 |
| | (1) いじめを受けている少女の気持ちについて話し合う。 | |
| | (2) いじめについてのアンケート結果を見て「見て見ぬふりをする」ことが多い理由について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・どうしたらよいか分からないから ・助けると自分もいじめられるから ・いじめられる側にも問題があるから ・自分に関係がないから | |
| 15分 | (3) 気づいているまわりはどうすべきかを班で話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめられている子に声をかけ、助ける。 ・「犯罪」だからすぐに先生や家の人に伝えるようにアドバイスする。 ・担任の先生に知らせる。 ・大人の人に相談する。 ↓ ○話し合ったことを「いじめに気づいたらどうする」のワークシートにまとめて全員で確認し合う。 | |
| 5分 | 5 教師の話を書く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返り、今後の生活の中で実践できるよう意欲づけを図る。 |

参考資料1

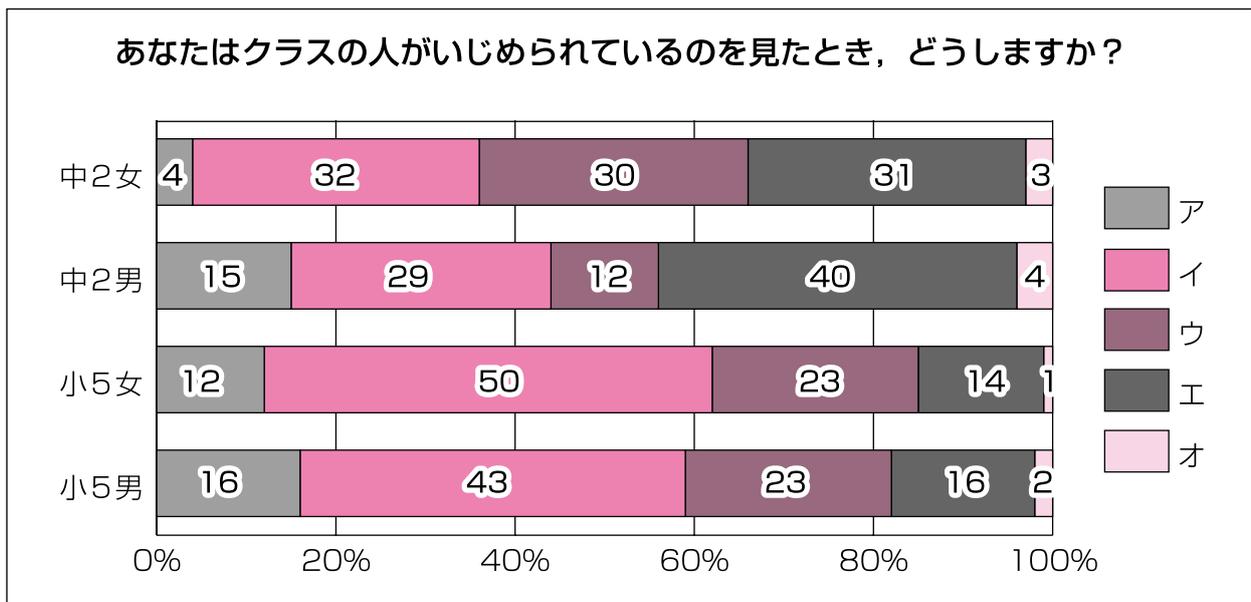
中学2年に進級したA君は、クラス内のあるグループから使い走りをさせられるようになった。10月ぐらいから「ふざけ」がエスカレートしていき、顔にマジックでヒゲをかかれたり、廊下で踊らされたり、服にマヨネーズをかけられたりしていた。いじめはさらにエスカレートしていった。プロレスごっこのサンドバッグ、モデルガンの標的、積み上げられたイスと机に閉じ込められる、野球拳で服を脱がされるなど・・・。

そして、ついにA君は次のような遺書を残してこの世を去った。

俺だってまだ死にたくない。けどこのままじゃ「生き地獄」になっちゃうよ。ただ、俺が死んだからって他のやつが犠牲になったんじゃ意味ないんじゃないか、だから、君たちもバカな事をするのはやめてくれ、最後のお願いだ。

参考資料2

生徒指導部研究収録 第41集 明日を拓く生徒指導



ア 勇気をだしてとめる
 ウ 先生に言ってとめてもらう
 オ いじめる仲間に入ってしまう

イ 友だちと協力してとめる
 エ 見て見ぬふりをする

心のノート「この学級に正義はあるのか」

こんなあなたはいませんか？



知らんぷり型

傍観者でいて
どうやって正義を
実現するのですか？



自分がカワイイ型



無関心よそおい型

視界に入っているのに
心の目が見ようとしな

ひと言注意すれば
解決するかもしれないことに
口をつぐんでしまう

つらい思いをしている
仲間の声が聞こえているのに
聞こえないふりをする

ワークシートの例

いじめに気づいたらどうする

二年 組 氏名

いじめに気づいたら



「死にたい」という人がいたらどうしよう

指導にあたって

1 題材設定の理由

「立志」の年齢にあたるこの学年で、「命を大切にしていりよく生きたい。」という意識をもたせたい。自他の命を大切にするとともに、「死にたい」と言う友だちに気づいたらそれを止めるための対応を身につけるため、この題材を設定した。

2 指導の流れ

(1) 事前指導

①命の大切さや人の死に関する新聞記事やコラムを紹介する。

(2) 事後指導

①将来の夢に向かって生きることの尊さを考えさせ、立志活動(学校行事)につなげる。

②道徳で、内容項目3-(1)生命尊重について学習する。

(3) 留意事項

身近な人を自殺で亡くしている生徒や、家族の「死」に直面している生徒について把握しておく。学級の実態に応じてスクールカウンセラーや養護教諭などに相談し、連携した指導が必要である。

板書の例

| 「死にたい」という人がいたらどうしよう | | |
|--|-----------------|--|
| 「死」のイメージは ・ 怖い ・ 命がなくなる ・ | ◎あなたならどんな言動をとるか | A ○信頼できる人に相談する。 ○ゆっくり休み自分の好きなことに夢中になる。 |
| 「自殺」をすると ・ 家族を悲しませる ・ 社会に迷惑をかける ・ 望みがなくなる | 1班 | 5班 |
| 「死」によって失うもの ・ 活動する時間 ・ 感動 ・ 可能性 | 2班 | 6班 |
| | 3班 | 7班 |
| | 4班 | 8班 |
| | | B ○真剣に話を聞いてあげる。 ○信頼できる大人に相談するように勧める。 |

展開の例

| 時間 | 学 習 内 容 | 指導上の留意点 評 価 |
|---------------------|--|---|
| 10分 | 1 あらかじめ考えてきた「死」に関するイメージをまとめる。 2 本時の学習課題を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを利用し、死についてのイメージを個々に明確にさせる。 ・わが国には交通事故の死者よりも多い自殺者がいること、本誌P93～の資料のように子どもにも起こっていることについて確認する。 |
| 「死にたい」という人がいたらどうしよう | | |
| 5分 | 3 「死」によって失うものについて考える。 (1)「死」によって何を失うか考え、意見を出す。 <ul style="list-style-type: none"> ・活動する時間 ・感動 ・可能性 ・話ができなくなる ・何も食べられなくなる (2)教師の話を書く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「死」によって失うものは何かを発問し、自由に発言させる。また、発言内容を黒板に書いて確認する。 ・発言が出ないときには、おいしいものが食べられない、楽しさも味わえないなど、身近なことを思い出せる事例を挙げる。 ・さまざまな可能性が止まってしまうことを説明する。 |
| 25分 | 4 次のような状況で、どのような言動をとればよいか考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> A 学級の人全員にいじめられている人がいて、「私なんていない方がいいんだ・死にたい」と言ったらどうするか。 B 身近な人に「死にたい」と相談されたとき、中学生のあなたはどのような言動をとるか。 </div> (1) 自分の意見をまとめる。 (2) グループで話し合っ考えたことをまとめる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分で「死にたい」と思うような状況を深く考えさせるのではなく、「生きていることが嫌になった」というように条件設定し、死ぬことを止める方法を考えさせる。 ・グループでの話し合いは、リーダーが進行して一人一人の発表を基にどうすればよいかまとめさせる。 <p>評 課題について真剣に考え、どのような対処をするべきか自分の考えをまとめている。 (ワークシート・観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談することや相談されたときの対応は、大切なスキルであることを確認するとともに、学校以外にも各種の相談機関があることを知らせる。 (P98参照) |
| 10分 | 5 教師の話を書いてから、学習を通して感じたことをまとめる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・命を大切にし、自殺をするような人にはなつてほしくないという教師の思いを伝えた上で、感想をまとめさせる。 |

「死にたい」という人がいたらどうしよう



| | | |
|---|---|----|
| 組 | 番 | 氏名 |
|---|---|----|

1 「死」に関するイメージを8つ以内で書いてください。<5分>

| | | |
|--|----------|--|
| | | |
| | 死のイメージは？ | |
| | | |

2 「死」によってあなたが失うものを自由に書いてください。

3 友達の見解を聞いて考えたことを書き留めよう。

4 次のようなとき、あなたはどのような行動をとりますか？ <30分>
 (1) 学業でいじめられて、「死にたい」と言っている人がいたとき、あなたはどのような行動をとるでしょう？

① あなたの考え

② グループで話し合っ考えたこと

(2) 身近な人に「死にたい」と相談されたとき、あなたはどのような行動をとるでしょう？

① あなたの考え

② グループで話し合っ考えたこと

5 学習を通して感じたことをまとめてください。

1. 紹介するコラムの例

平成10年4月20日の山形新聞「いま語る」欄に放送タレントで作家の永六輔さんのインタビュー記事が掲載されました。その抜粋です。

「迷惑かけなければ死んだっていいじゃないか」という考えもあるようですが、誰にも迷惑のかからない死に方というのが本当に存在するのでしょうか。「安楽死」や「尊厳死」の受け止め方もいろいろありますが、積極的安楽死はともかくとして、延命治療を止めてもらうことと、自から命を絶つこととは違うと思う。例えば、アメリカでは患者の自己決定権法が制定され、患者の治療を選択する権利と治療を拒否する権利が保障され、回復する見込みの無い場合には積極的な治療を拒否する事例もある。この考えには基本的には私も同意します。経口摂取もできなくなり他に医療手段が無いような時、積極的な延命治療を断るとするのは自殺ではなく、昔のおじいさんやおばあさん達がそうであったように命のままにまかせるといふ生き方に通じる姿勢と考えるからです。

2. 事後指導の資料の例

① 生きることに関する自己点検シート

進路学習シート

自分の夢をかなえるために

| | | |
|---|---|----|
| 組 | 番 | 氏名 |
|---|---|----|

1 現在の自分を自己点検してみましょう

(1) 自分で就きたい職業や理想の人物像が明確ですか？

〈 はい ・ いいえ 〉

(2) 悩みや不安なことがあれば、だれかに相談していますか？

〈 はい ・ いいえ 〉

(3) やりがいや生きがいを感じることはありませんか？

〈 はい ・ いいえ 〉

2 最近、感動したり生きていってすばらしいと感じたりしたことがあれば書いてください。

3 今、自分で興味を持っていることや、がんばっていることは何か書いてください。

② 生徒の心に響く話の例

小学5年生の学習を思い出させるために、再度、マザー・テレサの話を出して・・・

マザー・テレサは、人間の最も悲しむべきことは何だと言っていたか覚えていますか？

「人間にとって最も悲しむべきことは病気で貧乏でもなく、自分はこの世に不必要な人間だと思ひこむことです。そしてまた、現世の最大の悪は、そういう人に対する愛が足りないことです。望まれないで生まれてきた人は、一人もいません。」と言っていましたね。

人は、与えていただいた自分の命を大切に、自分の生き方を探しながら生活してこそ価値があります。どんなに苦しくても、社会にうちひしがれても、大きな失敗をしても、一生懸命に生きていればきっとよいことが巡ってきます。皆さんはこれからも自分の命を大切にして生活してください。この世には不必要な人はいません。

未来に向かって

指導にあたって

1 題材設定の理由

この時期の生徒は、自分の特性をある程度理解した上で、漠然としてはいるが、将来の構想をもっている。その反面、自分で型にはめてしまい、よさや持ち前に気がつくことができずに閉塞感にさいなまれ、不安定な状態にある場合も多い。そこで、他者から見た自分の別の特性に気づくような活動を行うことで、困難にぶつかった時、その状況を多面的に捉え、柔軟に対処していくしなやかな力をつけたいと考えこの題材を設定した。

2 指導の流れ

(1) 事前指導

- ①自分の未来を想像して未来予想図を作る。
- ②適性検査や職業の適性に関する学習を行う。

(2) 事後指導

- ①自分の新たな可能性について考える時間を設定する。
- ②改めて適性検査を実施したり、過去に実施した適性検査の結果を見直したりする。
- ③受験や卒業に向けて、自分のやるべきことやできることを考えさせる。
- ④いろいろな経験をしている人の事例等を取り上げ話題にする。

板書の例

未来をソウゾウしてみよう

◎ 未来を **想 像** しよう

私の未来予想図

未来

現在

個性やよさを生かせる職業を友だちに伝えよう

- 長所を見つける。
(一人一人もっているものがある。)
- 具体的な場面から考える。
- 相手を思いやり、真剣に伝える。

たくさんの可能性

たくさんの道

たくさんの生き方

◎ 未来を **創 造** しよう

展開の例

| 時間 | 学 習 内 容 | 指導上の留意点 評価 |
|--------------|--|---|
| 10分 | <p>1 作成した「私の未来予想図」をもとに、10年後の自分の姿について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな仕事をしているか。 ・どこで暮らしているか。 ・どんなことを楽しんでいるか。 ・どんな生活か など <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・夢や希望をかなえた未来の自分を想像させることで、本時の活動への意欲を高めたい。 ・10年後には、ほとんどの人が働いていることを確認し、具体的に自分の仕事や趣味などと関連させながら、話し合う。 |
| 未来をソウゾウしてみよう | | |
| 30分 | <p>3 友だちのよさや持ち前を生かせる職業とその理由を考え、相手に伝える。</p> <p>(1) カードに具体的に記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A君は、JAXAの広報担当者 ・B君は、保育士 ・Cさんは、芸能関係の仕事 ・Dさんは、カウンセラー <p>(2) カードをお互いに交換し合いワークシートに貼る。</p> <p>(3) 友だちに合っている職業とそれを選んだ理由を詳しく伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A君は、宇宙や星のことをよく知っている。話も上手だから。 ・B君が、幼稚園訪問したときの姿をみていてそう思った。 ・Cさんは、歌がうまいし芸能界についてよく知っている。 ・Dさんは、話をよく聞いてくれる。 <p>(4) 友だちの意見を聞いて感じたことや考えたことをワークシートに書いてまとめる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・職業名や理由を簡単に記入するカードを配付する。(グループの人数分) ・友だちの普段の行動を考え、長所や特性を生かせる職業を考えるように助言する。 ・記入できない生徒には、その友だちの長所や特性を伝えて共に考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・理由を伝える場合は「こんなことがあったから」「こんな場面を見たから」など具体的な話し合いになるように助言したい。 ・欠点と思っていることや嫌だと思っていることも裏を返せば長所になることを伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思っていたことと比べ、自分の別な可能性について考えてみるように助言する。 <p>評 自分にはたくさんの可能性があることに気づき、柔軟に対処していく心構えをもとうとしている。(ワークシート、発表、観察)</p> |
| 10分 | <p>4 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 教師の話聞く。</p> <p>(2) 未来予想図を見直してみる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人がたくさんの可能性をもった存在であり、幾通りもの生き方ができることを伝えたい。また、未来は「創造」するものであることを伝えたい。 ・未来予想図に別な道を書き込んだり枝分かれさせたりして、これから歩む人生をイメージさせたい。 |

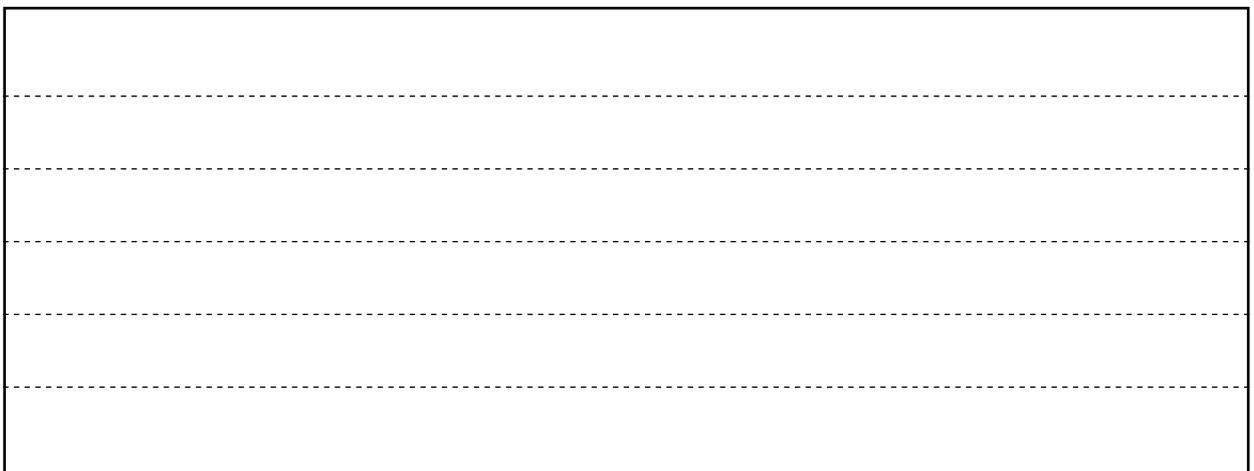
未来をソウゾウしてみよう

3年()組()番 名前()

友だちが私に合う職業を選んでくれました。「友だちの未来予想カード」を貼りましょう。

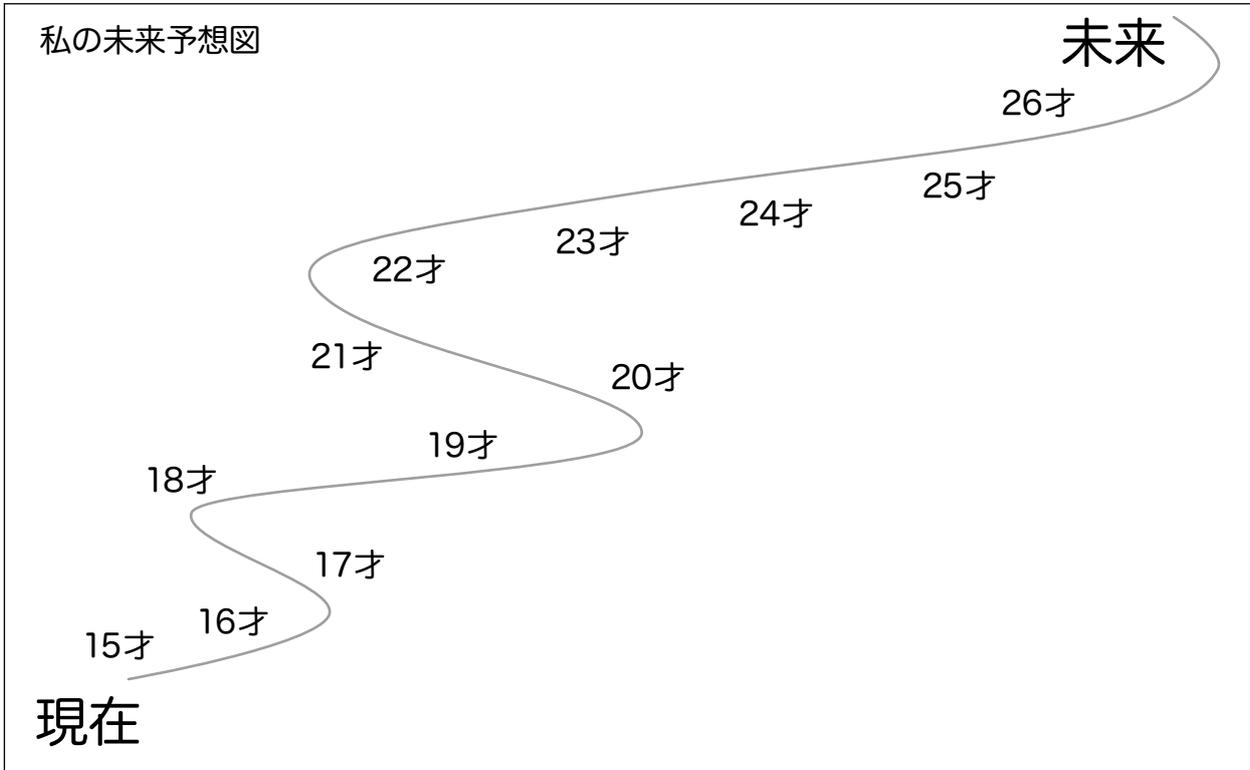


感想



参考資料

- ・自分がその年代にどうなっているか想像をふくらませて自由に書く。
- ・あまり制約せず楽しく書く。
- ・犯罪や人の迷惑になることは書かない。



事前指導で時間を十分に確保したい。

友だちのよさや持ち前を生かせる職業を見つけてあげよう。

| | | | |
|-------------|---------------------|-----|---------------------|
| 《理由 | さんに合っている仕事は 》です。 | 《理由 | さんに合っている仕事は 》です。 |
| 友だちの未来予想カード | | | |
| 《理由 | さんに合っている仕事は 》です。 | 《理由 | さんに合っている仕事は 》です。 |

コラム④

自殺系サイト

パソコンや携帯電話のインターネットを介した青少年の問題行動が深刻になっていきます。学校裏サイトやブログ（ネット上の個人日記）への書き込みによるいじめや出会い系サイトを通じての性非行の問題と並んで、自殺系サイトも子どもの心身に有害な影響を与えています。自殺系サイトとは、自殺願望を持つ者同士がネット上で交流することです。2003年～2005年にはサイトで知り合った者同士が練炭で集団自殺する事件が続出したり、2008年にはネットで流された情報をもとに硫化水素による自殺の連鎖も起こりました。2005年には中学生が練炭自殺に加わったり、2008年には高校生が硫化水素による自殺を図ったりと、子どもを巻き込む事件も起こっています。

思春期・青年期は、友人や家族の人間関係、進路や生き方など、多くの悩みを抱えて葛藤が生じやすい時期です。死にたいと思いつめるほどの悩みがあってもその思いを語る場をもたない子どもにとって、ネットは匿名性のもとで唯一本音が出せる場になっていることもあるのです。同じ悩みや苦しみをもち者同士が面と向っては話せないことも語り合うことができるからです。しかし、それにとどまらず、仲間を募って集団自殺を引き起こしたり、自殺方法を詳細に流して自殺を後押ししてしまう事件が起こっています。

実際に顔を合わせていれば、話題が広がったり具体的な行動を伴うことで偏った思いこみから自由になることもできますが、ネット上では話題が狭い範囲に集中してしまいがちです。自殺系サイトでは自殺の話題だけで会話が交わされるため、広い視野から柔軟に物事を考えることができなくなり、自殺へ引き込まれる危険性が高まると考えられます。

今後、自殺系サイトへの規制を強めたり、自殺願望にブレーキをかける自殺予防サイトを作ることが必要であると思われます。そして、何よりも、現実場面で悩みを話せるような身近な人との信頼的な人間関係を築いていくことが大切なのではないでしょうか。



「教師が知っておきたい 子どもの自殺予防教育」より（平成21年3月）文部科学省

参考資料

こ い ぬ



南小学校長 古市 敏夫

児童生徒の自殺

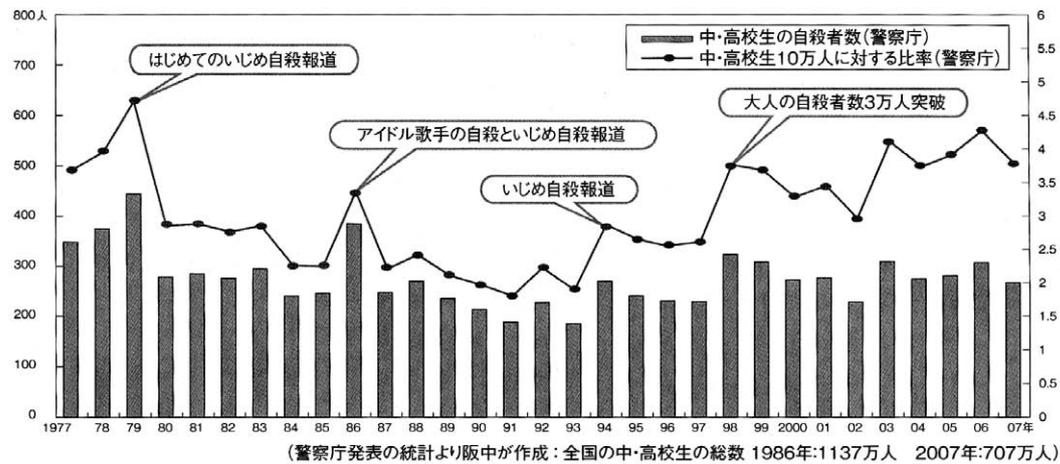
子供の自殺の実態

小中高校生の自殺者数は、いじめ自殺という言葉がはじめて登場した1979年やアイドル歌手の自殺やいじめ自殺の後に複数の自殺が誘発された1986年のように突出している年もありますが、毎年300人前後で推移してきました。しかし、自殺率をみると、図表1のように、最近の少子化のため上昇傾向にあります。

全自殺者の中に占める未成年者の割合は約2%ですが、全体に占める割合が小さいからといって子どもの心の問題に真剣に取り組まないでいると、大人になってから心の健康に深刻な問題を生じることにもなりかねません。

また、自殺は連鎖を呼ぶ(群発自殺)といわれますが、グラフからも子どもたちは特に他者の自殺の影響を受けやすいことがわかります。

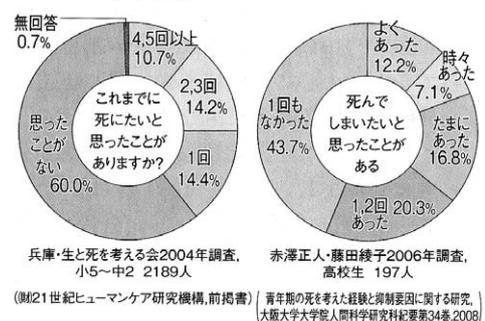
図表1 中・高校生の自殺者と自殺率



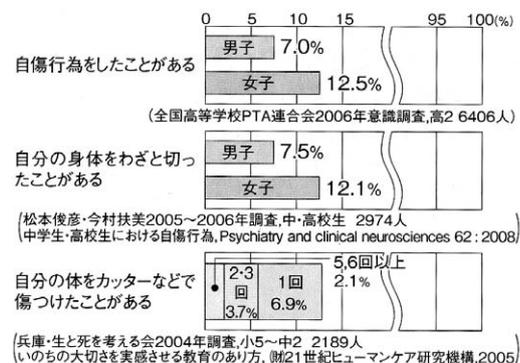
子どもの死に対する意識

「死にたいと思ったことがある」という子どもは、小学校の高学年から増え始め、低くみても中学生・高校生では2~3割にも達するという報告があります(図表2)。思春期・青年期の子どもたちは真剣に生きることを考え始めるからこそ、その裏返しとして死が頭をよぎり、希死念慮(死にたいという気持ち)も高まるのではないのでしょうか。

図表2 「死にたい」と思ったことのある子どもの割合



図表3 子どもの自傷行為の実態



自傷行為の実態

自分の身体を傷つける中学生・高校生は10%を下らないという報告があります。(図表3) 過去に1回でも自傷行為をしたことがある人は、自傷行為を認めない人に比べて、その後は、はるかに高い確率で自殺によって死亡していると言われています。たとえその時は命を落とすことのない自傷行為であったとしても、適切なケアを受けられないと、実際に死亡する行為に発展していく危険が高いことを忘れないでください。

最近になって自殺が増えていることが問題になっていますが、働き盛りや高齢者の自殺に比べると、子どもの自殺には十分な関心が払われていないのが現状です。これまでのように子どもの自殺をタブー視したり、特殊な問題として片づけたりするのではなく、学校の教育活動の一環として捉え、大切な課題として向き合う時が来ています。

子どもと向かい合うために

児童・生徒の日常には様々な危機が潜んでいます。ですから私たち教師は子どもとの信頼関係を築き、いつでも受け入れる姿勢を示さなければなりません。さらに、子どもの小さな変化を察知する感性を磨くことも大切なことです。

どんな場合でも、私たちは子どもと向かい合うための体制を整えておく必要があります。これは校内体制の見直しチェックリストとして活用してください。

SOSに気がつく校内体制

- 保健室や相談室は気軽に来室できる場所であるか？
 - ・相談日や相談習慣の設定
 - ・担当者や部屋の雰囲気
 - ・子どもや保護者の声のアンケート
- ちょっとしたやり取りや会話から言葉にならない声に気づけているか？
 - ・職員間の立ち話
 - ・学年会や教育相談部会での情報交換
- 多角的な視点を生かした子ども理解ができているか？
 - ・学校全体で教育している認識
 - ・事務職員、調理員、その他の職員からの情報収集

リスク軽減のための校内体制

- 教職員等の役割分担が明確で連携できているか？
 - ・校務分掌上のひとりひとりの役割
 - ・学校としての目標の共有
- 既存の体制を別な視点から見直すと活用できないか？
 - ・アンケートやチェックリストの活用

危機対応のための校内体制

- 「危機対応チーム」は機能しているか？
 - ・状況に応じた構成メンバー
 - ・平常時の活動（体制やマニュアルの作成）
- 危機対応時の流れ・方針・分担等は明確になっているか？
 - ・「報告・連絡・相談・確認」の徹底
 - ・希望的観測を慎む
 - ・迅速で組織的な対応

1 ひどく落ち込んだら相談すること

ひとりで課題を乗り越えることは大事なことです，誰かに相談できることも生きるうえでは素晴らしい能力であることを伝えておきましょう。

2 友だちから相談されたら大人につなぐこと

相手の気持ちを大事にしながら話を聞き，信頼できる大人につなぐことが大切な友達を救うことになると伝えましょう。

3 関係機関を知っておくこと

医療・福祉・保健など各種の相談機関は，いざという時のブレーキになります。相談できる関係機関を伝えておきましょう。



自殺のサイン

自殺直前のサインとは？

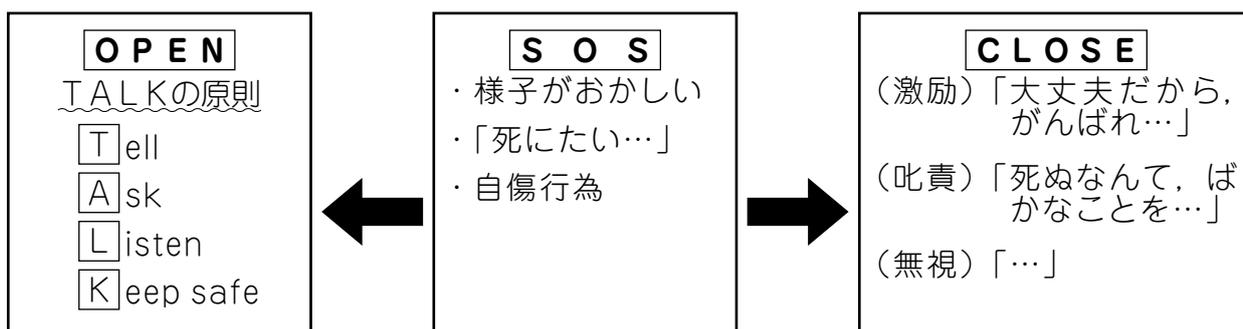
自殺の危険因子が多くみられる子どもに、普段と違った顕著な行動の変化が現れた場合には、自殺直前のサインとしてとらえる必要があります。小学校低学年くらいまでの子どもでは、言葉ではうまく表現できないことも多いので、態度に現れる微妙なサインを注意深く取り上げる必要があります。

- これまでに関心のあった事柄に対して興味を失う。
- 注意が集中できなくなる。
- いつもなら楽々できるような課題が達成できない。
- 成績が急に落ちる。
- 不安やイライラが増し、落ち着きがなくなる。
- 投げやりな態度が目立つ。
- 身だしなみを気にしなくなる。
- 健康や自己管理がおろそかになる。
- 不眠、食欲不振、体重減少などのさまざまな身体の不調を訴える。
- 自分より年下の子どもや動物を虐待する。
- 学校に通わなくなる。
- 友人との交際をやめて、引きこもりがちになる。
- 家出や放浪をする。
- 乱れた性行動に及ぶ。
- 過度に危険な行為に及ぶ。実際に大怪我をする。
- 自殺にとらわれ、自殺についての文章を書いたり、自殺についての絵を描いたりする。



以上のサインの中には、子どもではそれほどめずらしいことではないと考えられるものもあるかもしれませんが、しかし、総合的に判断することが重要です。難しいことではありますが、子どもに関わる大人は子どもの変化を的確にとらえて、自殺の危険を早い段階で察知し、適切な対応ができるようにしたいものです。

自殺の危機が高まった子どもへの関わり方



Tell: 言葉にして心配していることを伝える Ask: 「死にたい」という気持ちについて率直に尋ねる
Listen: 絶望的な気持ちを傾聴する Keep safe: 安全を確保する

◎ 対応する教師の姿勢 = “チームで対応する”

1 ひとりで抱え込まない

危機が高まった子どもに対応する場合、指導が行き詰まって自信を喪失したり、周囲の無理解への怒りや反発を感じたりすることがあります。こうした対応者の不安を取り除きストレスから解放するためにもチームで対応することは大切なことです。また、チームでの対応は、多くの視点からその子どもを見ることができ、危機回避への方策の発見にも功を奏します。中心となる人を決めて、役割を分担した継続的な援助をします。

2 急に関係を切らない

SOSがキャッチされると対応者への依存度が急激に高まる場合があります。時にこれは対応者にプレッシャーをかけ、背負いきれない重荷になりかねません。そうならないためには、チームでの対応が必要ですが、重荷にならないような枠をあらかじめ設定し、継続的な信頼関係を保持していくことも重要なポイントです。そして急に子どもとの関係を切らないように心がけなければなりません。

3 「秘密にしてほしい」と言われたら

「これは誰にも言わないで…」 「家の人には内緒にして…」などは、危機の高まった子どもや自傷行為を繰り返す子どもがよく訴える言葉です。これに対しての過剰な反応や無視や軽視は自殺のリスクを高めます。守秘義務の原則に立って連携し、共通理解を図ることが鍵になります。

4 リストカット(自傷行為)への対応

リストカットなどの自傷行為が発覚した場合、自殺の危機が高まったと考えていいでしょう。この場合大切なことは、決してあわてず真摯に対応することです。専門家の意見や文献などを参考に、万が一の対応策をチームで作成し周知しておくことが必要です。

地域の関係機関

| 名称 | 日時 | 場所 | 連絡先 |
|----------------|---------------------------|---------------------------|--|
| 健康相談 | 月～金8:30～17:30 | 友部保健センター | 0296(77)9145 |
| | | 笠間保健センター | 0296(72)7711 |
| | | 岩間保健センター | 0299(45)7888 |
| 家庭児童相談室 | 月～金13:00～17:30 | 市役所本庁 家庭児童相談室 | 0296(70)5411 0296(77)1101(内線194) |
| 子ども福祉課 | 月～金8:30～17:30 | 本所子ども福祉課 | 0296(77)1101 |
| | | 笠間支所福祉課 | 0296(72)1111 |
| | | 岩間支所福祉課 | 0299(37)6611 |
| 心の相談室 | 月～金9:00～16:00 | 笠間保健サービスセンター内 心の相談室 | 0296(73)0710 |
| 適応指導教室 | 月～金9:00～16:00 | かしのひろば (笠間保健サービスセンター内) | 0296(73)0710 |
| | 月～金9:00～17:00 | もくせい教室 (市役所敷地内) | 0296(78)9151 |
| | 月～金9:00～17:00 | あたごのひろば (旧岩間町役場分庁舎2階) | 0299(45)0015 |
| 心の教室相談員 | 中学校ごとに計画 | 各中学校 | 各中学校 |
| スクールカウンセラー | 全中学校 他 | 各中学校 岩間第一小学校 | 各中学校 岩間第一小学校 |
| 教育委員会指導室 | 月～金8:30～17:30 | 教育委員会学務課 指導室 | 0296(77)7515 |
| 茨城いのちの電話 | 24時間対応 | | 029(255)1000 |
| 子どもホットライン | 24時間対応 | | 029(221)8181(TEL) 029(302)2166(FAX) Kodomo@edu.pref.ibaraki.jp |
| いばらきこころのホットライン | 9:00～16:00 | 県精神保健福祉センター | 029(244)0556(月～金) 0120(236)556(土日7-ダイヤル) |
| 子どもの教育相談 | 月～金9:00～16:30 | 教育研修センター | 0296(78)2333 |
| 生徒指導相談室 | 月～金9:00～18:30 | 水戸教育事務所 | 029(221)5550 029(227)4857 |
| 水戸保健所 | 毎月第1月 10:00～12:00(予約制) | 茨城県水戸保健所 保健指導課 | 029(241)0571 |
| 中央児童相談所 | 月～金8:30～17:00 | 茨城県福祉相談センター | 029(221)4992 |

(平成24年4月1日現在)

おわりに

「自殺をしてはいけない」ということを教えるのは、「命の大切さ」を教えること？ 「自殺」という言葉を出してもいいの？ 私たち作成委員は、マニュアル作成の方向性を考える際に、最初から悩んでいました。飯島教育長をはじめ、指導室の先生方のご助言をいただきながら、指導内容に基づく資料を作成し、実際に検証授業を行い、約7か月間をかけて修正を重ねてきました。笠間市の全ての児童・生徒に、「命を大切にしたい」、「社会の形成者としてたくましく成長してほしい」というメッセージを伝えたいという思いを胸に作成してきました。

同じ題材を扱っても指導者によって授業の展開が異なることも予想できますが、今回の学習指導要領の改訂の趣旨に合わせて「最低基準」と考え、実践していただければ幸いです。学校は違っても、児童・生徒一人一人の人格の完成を目指して教育に取り組んでいる笠間市の教職員の一員として、この「かがやき」をご活用いただきたいと思います。

なお、本マニュアルの作成にあたり、茨城大学教育学部の丸山広人准教授から貴重な御意見を頂戴致しました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

作成委員 一同

| | | |
|----------|--------|-------------|
| 作成委員 | 塚田 薫 | 友部中学校 教頭 |
| | 根本 久美子 | 穴戸小学校 養護教諭 |
| | 秋山 裕子 | 大原小学校 教諭 |
| | 仲田 郁夫 | 友部第二小学校 |
| | 赤津 利治 | 笠間中学校 |
| | 大口 由美子 | 友部第二中学校 |
| 教育委員会担当者 | 木村 友明 | 学務課指導室 指導室長 |
| | 井坂 守 | 学務課指導室 指導主事 |
| | 菊池 由美 | 学務課指導室 指導主事 |
| | 加藤 宗治 | 学務課指導室 指導主事 |

笠間市自殺予防教育指導マニュアル

「かがやき」

— 命の大切さを実感させる教育プログラム —

平成24年4月1日 発行

発行者 笠間市教育委員会

〒309-1792 笠間市中央三丁目2番1号

電話 0296-77-1101

印刷所 (有)テクノプラン



笠間市